大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 三月九日

本紙一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料 普通一行壹圓五拾錢
特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三二〇
發行人 松本榮忠
編輯人 十河榮勇
印刷人 水越内之介

議會の本舞台は貴族院へ
未曾有の尨大豫算 貴族院へ廻附さる!
結局會期は四日程度延長か

【東京國通】未曾有の尨大豫算案は九日より貴族院の審議に移され今議會後半の本舞臺はいよいよ貴族院に移つたが政府は衆議院における經過に鑑み多少の論議はあつても結局貴族院の無修正通過は確實であり明年度豫算は無事成立するものと極めて樂觀的態度を持してゐる、しかして政府としては會期問題についても九日より起算して會期終りの二十五日までには十七日間を殘すのみで、議院法規定の豫算審査期間に對しても四日間の不足となるので、極力豫算案審議の促進に努めるとゝもに貴族院側の意向をも參酌して最低限度豫算審査に必要なだけの會期延長を行ふ意向を内定して豫算案の成立に遺憾なからしむる一方會期接迫せる今日に至るも衆議院に膠着したまゝ停頓狀態にある增稅關稅兩重要法案をはじめその他の重要法案の通過に最後の努力を傾注することになつた

總務廳設置案 追加豫算で提出
四相會議案を採用

【東京國通】林首相は前内閣以來の懸案たる國策の統合機關としての總務廳設置に關し いよいよ十二年度追加豫算として今議會に提出する方針の下に原案の再立案を急がしめることゝなつたので、大橋書記官長、川越法制局長官及び横滿情報委員會幹事長等は八日午後第一回會議を開いて種々協議をとげたが、現内閣の方針としては前内閣時代から引繼いだ各種總務廳案、即ち四相會議案、陸海軍案、調査局案、書記官長案等を資料として改めて白紙の立場から再檢討を加へ、最も妥當なる原案を樹立せんとするもので、今後引續き連日協議會を開いて可及的速かに原案を決定して首相の下に提出することになつてゐる、而して總務廳案の内容については豫算の統制按排に關する總務廳の權能限度が最も中心的な問題となつてゐるが、この點については林首相も既に本機關を強化するには暗々裡に反對意向を表明してゐるので結局四相會議案を幾分強化した程度のものに落つくのではないかと見られる

壺蘆島築港 本格的工事へ

遼西熱河蒙古方面の物資輸出港として輝かしき未來を期待されてゐる壺蘆島港は準備工事を完了し愈よ陽春四月より本格的築港工事に着手する事となつたが、工事費六百萬圓一方滿洲國側においても之と併行し錦西縣公署では今年約七十萬圓を起債して壺蘆島都市計畫を樹立して居り新興壺蘆島の未來は大いに期待されて居る

又復ソ聯兵の不法越境沙汰
半島人子供拉致さる

滿ソ東西國境にソ聯側の不法行爲が絶えざる折柄最近左の如く二つの不法越境事件があつたが、滿洲國外交部では八日北滿特派員施履本氏をして駐哈ソ聯總領事に對し、右ソ聯側の不法行爲に對し嚴重抗議すると共に將來の保障を要求せしめた

一、一月卅一日午前十一時頃三江省饒河縣第二區新農坪附近にソ聯兵二名不法越境し折柄スケート中の半島人子供(一二歲)一名を小銃にて威嚇しつゝソ聯領内に拉致し去つた

二、二月一日濱江省東寧附近の滿洲領内にソ聯より逃亡せる牛を捕へると稱しソ聯騎馬兵一名無斷にて不法越境して引揚げた

國防費以外の經費 增額を差控へよ
=日本經聯の建議案決定=

【東京國通】日本經濟聯盟では八日午後四時丸の内工業倶樂部で理事會を開き串田、大橋、磯村、門野、矢野の各理事出席の上さきに常任委員會で内定せる結城財政ならびに稅制に關する意見を附議した結果原案通り左の通り決定、林首相を始め政府關係當局へ夫々建議することゝなつた

一、現下の國際情勢に鑑みわが國國防の充實強化は喫緊の要務なるをもつてこの目的達成のため國防費以外の各省經費は犧牲を忍び增額を差控ふること適當なりと思惟す

二、政府の臨時租稅增徵案によればその負擔がわが國産業經營體中樞をなす法人企業に偏重されてゐる、これはわが國の產業を振興し國富の增進を圖るべき根本方針と背馳するをもつて速かに是正せられんことを望む

三、わが國現行稅制には幾多の缺點あり、從つてこれを基礎として增稅をなすは益々負擔の不均衡と不條理とを大ならしむるにより政府は速かに官民合同の權威ある稅制審議機關を設定しゆる稅制を樹立せられんことを望む

宋哲元氏私に 冀察改組を策す
中央に使者特派か

【上海八日發國通】確實なる筋の消息によれば宋哲元氏は最近代表を南京に派し冀察機構改編問題につき中央と折衝をとげると傳へられる、確聞するに宋氏は冀察改組案をさきの三中全會に提案すべく劃策せるも提案を引受ける者なく沙汰やみとなつたものゝ如くである、當の南京政府としてはいまのところ改組の意志なくさきに秦德純氏の提出せる意見も大體採擇され引續き北支における對日接近をはかり事件再發の防止を希望してゐる模樣である、たゞ政府部内における鐵道、交通、外交の各部では

一、冀察内鐵道當局が實際問題として中央の管轄外にあること

一、惠通公司も何等交通部の諒解をまたず航空連絡を開始せること

一、北支外交が中央に統制されざること

等の諸點から冀察の現狀に尠からず不滿を懷いてをり、南京政府今後の動向は極めて注目されてゐる

國民政府の密偵 滿洲國内に潜入
國内警戒網を動員して監視

國民政府の密偵養成所とされてゐる在上海情報委員訓練處第一期生約六十名が昨年來滿洲國に潜入して滿洲國内攪亂の魔手を延ばしつゝあつたことが發覺し、その一部は滿洲國官憲に逮捕され、陰謀は一頓挫したが、最近又復國民政府の密令を受けた第二期生數十名滿洲國に潜入せる形跡があるので、當局では國境方面の取締を嚴にするとゝもに國内警戒網を動員して監視してゐる

東北軍續々移動

【上海八日發國通】當地着情報によれば、陝西にある東北軍は西安行營からの正式命令をうけ某地向け續々進駐を開始、東北軍特務團は第廿師に改編されて六十七軍の指揮下に置かれ、何柱國氏が東北軍移動の一切の指揮を行つてゐる、高陵、涇陽に駐在の張部隊第百五師は二日から行動を起して商縣、龍駒寨から荊紫關に出で河南陽に向つて行進中であり、第百十五師も同じ線に沿つて近く移動、第百廿師、百十一師および百九師は各自別個の行動をもつて七日西安から乘車、隴海鐵路によつて渭南經由河南の閿河一帶に向つた、この大軍移動のため中央の命によつて隴海鐵路局では專用列車四十輛を準備しいづれも鎭、咸陽、西安臨潼、湖南に集中されてゐる現在甘肅に集結してゐるものと、王以哲氏の率ゐる六十七軍および于學忠氏の率ゐる五十一軍等部隊も近く進駐、某地に向け出發、寶鷄、咸陽兩驛から安徽の阜に移る豫定でこの軍隊輸送のため隴海鐵路貨車運輸は右完了までは常態に復し難いものとみられてゐる

洛陽監獄 囚人脫獄す

【上海八日發國通】洛陽來電によれば、洛陽法院監獄の囚人は七日午後五時暴動を起し脫獄を敢行した、軍警の追擊により内廿一名の逮捕をみ、七名を射殺したが、その殘餘の十四名は目下捜査中である

公署用電氣通信施設の特權認めらる

公署用電氣通信施設に關する件は九日參議府會議の諮詢を經て十一日公布、即日實施されることになつた、すなはち鐵道、船舶、航空、電氣、電報、氣象通信、警備その他警察事務および刑事訴訟事務執行等に用する通信施設は一般の通信施設とは劃然と區分し

日滿亞麻紡織 帝麻提携成る

【東京國通】亞麻工業は我國纖維工業中原料資源の缺乏からその發展最も遲々として僅かに國内の需要をみたしてゐるに過ぎぬ有樣であつたが今回日滿亞麻紡織と帝國製麻との間に原料供給上の提携成立し豐富なる原料を獲得供給し得らるゝことゝなり、これを契機に我が亞麻工業は今後輸出產業としての發展が大いに期待せらるゝに至つたことは注目さる、即ち現在滿洲における亞麻事業としては日滿亞麻紡織に依る日滿亞麻紡織股份有限公司一社のみであるが產業五ヶ年計畫の下に滿洲國政府は亞麻作の開發を要求してゐる點に鑑み帝國製麻に於ても豫てより同方面に手を延ばさんと企圖しつゝあつたが内地における過去の苦き經驗に激し競爭を避け既存の滿日亞麻紡織を通じて原料を獲得せんとし兩社の間に交涉が進められてゐたが、八日に至り正式にこれが決定を見たもので ある、かくて滿洲亞麻の開發は日滿兩社提携によつて行はるゝこととなつたが、この原料協定は更に今後品販賣協定の成立をも容易にする事となり從來年額僅か三百萬圓程度の輸出に止つて居た我が斯業は豐富低廉なる原料獲得により愈よ海外進出の時代に入つたものと見らる

滿洲電業 配當六分据置

滿洲電業會社では來る二十日第五回定時株主總會を開催、當期利益金處分については前期通り六分配當の豫定で、引續き臨時株主總會に移り西安ならびに牡丹江支局新設に伴ふ定款第四條の改正を行ふ筈

東拓社債 發行條件

【東京國通】東拓社債一千五百萬圓の新規發行條件は、左の如く内定した

一、總額一千五百萬圓
一、利率年四分一厘
一、發行價格百圓につき九十九圓五十錢
一、期限二年据置の十年
一、引受興銀、鮮銀、第一、三井、三菱、安田、第百、住友、三和の各銀行および三井、三菱、安田、住友、日本の各信託

人事往來

着京

▲古野伊之助氏(同盟通信)八日來京ヤマトホテル
▲森田久氏(弘報協會)同
▲圓澤善利氏(會社員)同
▲古市彌助氏(同)同
▲梅田潔氏(會社員)同
▲森山德次郎氏(島津製作所)同
▲林正次氏(會社員)同
▲岩城長治氏(キリンビール)同
▲野村稔人氏(滿鐵)同
▲桑原利英氏(同)同
▲加藤宗義氏(藥劑師)同大和新館
▲楊繼楷氏(チ、ハル高等法院長)同
▲竹中華越氏(請負業)同
▲中本正人氏(官吏)同
▲三井英吉氏(同)同
▲川崎安松氏(土木業)同蓬萊ホテル
▲武居鄉一氏(滿鐵)同
▲勝又武夫氏(同)同
▲秋山眞造氏(同)同
▲池田忠治氏(建築設計)同向陽ホテル
▲隈田虎三郎氏(滿鐵)同
▲青木繁樹氏(金物商)同
▲財部直氏(官吏)同
▲小龍尾邇氏(會社員)同
▲石井貫一氏(官吏)同國際ホテル
▲小林嵐一氏(辰巳商事)同
▲上野友藏氏(滿鐵)同
▲片岡銈太郎氏(日本電氣)同
▲同國都ホテル
▲菅原金藏氏(三菱商事)同
▲中澤規矩夫氏(大倉商事)同
▲武富吉雄氏(滿洲製糸取締役)同
▲足立義之助氏(官吏)同
▲峯信夫氏(滿洲モータース)同
▲中川濟四郎氏(銀行員)同
▲中宮長一氏(大倉商事)同
▲加藤康年氏(滿鐵)同
▲岩田才市氏(岡谷合資)同
▲龍野繁一郎氏(滿鐵)同
▲白井増五郎氏(商)同
▲小宮能男氏(會社員)同新京ホテル
▲金子銀平氏(貿易商)同
▲山田正一郎氏(會社員)同

出發

▲淺野重雄氏 八日發四平街へ
▲宮村修一郎氏 同奉天へ
▲岡部俊雄氏 同
▲藤平康一氏 同安東へ
▲押川一郎氏 同大連へ
▲江崎重吉氏 同奉天へ
▲文武一氏 同柳河縣へ
▲近藤修平氏 同大連へ
▲八木謹三氏 同吉林へ
▲半島義雄氏 同開原へ
▲大伴二郎氏 同ハルビンへ
▲松山政吉氏 同奉天へ
▲弓場常太郎氏 同
▲野崎薰氏 同大連へ
▲山本淺五氏 同
▲國分積氏 同牡丹江へ
▲田那邊勳氏 同ハルビンへ
▲松坂政孝氏 同
▲小笠原勝國氏 同奉天へ
▲多賀井八百藏氏 同大連へ
▲中吉睦哉氏 同
▲楠本淸藏氏 同奉天へ
▲水木鵬氏 同
▲松田義雄氏 同
▲三輪武氏 同大連へ
▲小田正義氏 同ハルビンへ
▲今村秀治氏 同
▲山内繁氏 同奉天へ
▲諸富兼四郎氏 同
▲林正次氏 同
▲荻原憲雄氏 同
▲水野茂氏 同吉林へ
▲石川竹二氏 同ハルビンへ
▲櫻山四郎氏 同
▲西野七郎氏 同淸津へ
▲杉野外雄氏 同奉天へ
▲中村唯一氏 同
▲千葉森仁人氏 同西安へ
▲中島友仲氏 同撫順へ
▲柴田廣吉氏 同ハルビンへ
▲石倉義雄氏 同
▲山羽勘太郎氏 同吉林へ
▲田中米治氏 同
▲桂五郎氏 同
▲別府龍氏 同
▲中田耕作氏 同ハルビンへ
▲高井恒則氏 同奉天へ
▲三溝又三氏 同大連へ
▲武田昇三氏 同
▲川口俊惠氏 同
▲出光計助氏 同
▲山田直之介氏 同
▲小林太氏 同鞍山へ
▲長澤弘之氏 同ハルビンへ
▲潮部一氏 同吉林へ
▲村上忠雄氏 同
▲堀田勝一氏 同
▲稲田登氏 同
▲小澤佐一氏 同
▲山室俊夫氏 同
▲岩田信治氏 同
▲東矢基一氏 同

その日

□ 國防費以外の費用を節約せよとの聲、景氣の跛行を激化しはせぬか

□ 新しき出發點、これは言葉の魅力がある、米は對支外交のニユー・デイールといふ

□ 支那の方でも新外交陣が成る、なんとかゼスチユアあつて宜しからう

□ 警察官の異動、こゝにも新體制への用意が行はれたのを知る

□ 物價高時代とあり、理髪料も上がりさう、いまに頭髪の統制型等も出來はせぬか

靖國神社臨時大祭
奏請に決す
四月二十五日より三日間

【東京國通】護國の英靈を祀る靖國神社大祭は陽春四月末九段の神域において盛大に擧行されることゝなり、陸軍省内には過般來祭典事務室を特設準備を急いでゐるが、昨年七月一日から同年末に至るまでに護國の人柱と散つた忠勇の將兵は陸軍だけで約六百數十名に上り、これに昨年臨時祭以後の犧牲英靈を合し、新に合祀さるべき英靈は千餘柱の多數となつてゐる、陸軍省では目下これら新合祀者名簿を作成中で來る二十二、三日ごろ上奏御裁可を仰ぐ筈であるが、殊に合祀者が多いので昭和九年以來三年ぶりに臨時大祭を奏請するに決した、日取りは御裁可あり次第公表されるが左の豫定である

四月廿五日より三日間臨時大祭
四月卅日春季　大祭

なほ滿洲事件後昨年末までに至る陸軍の犧牲死亡者は

將校	三七〇名
准士官	一一二
下士官	一、六八二
兵	三、八七二
軍屬	三六〇
計	六、三九六

におよんでをり、今回の臨時大祭は事變後第四回目のことである

陸軍色一色に
國都を塗り潰す
神社の奉告祭をトップに
盛り澤山な行事

あすは陸軍記念日

十日第三十二回陸軍記念日の國都に於ける諸行事は午前十時新京神社に於ける奉告祭をトップに午前十一時よりは中央通路上で在郷軍人を首め銃後の守り四千の勇壯なる閲兵分列があり引續き軍犬の大行進を行ひ正午からは記念公會堂に於て祝賀宴午後二時からは陸軍病院慰問午後七時より公會堂で日露戰を偲びて當時砲煙彈雨の下をくぐつて奮鬪した人々の實戰談及び映畫會を開いてすべての行事を閉じる豫定である、各行事を詳細に示せば

▲奉告祭＝時刻午前十時場所新京神社參列者在京各機關代表、次第修祓、獻饌齋主祝詞奏上、玉串捧奠順序總領事代理、在郷軍人分會長、滿鐵事務局地方課長(飯沼參事)特別市長、道族代表(三橋康豐)日露戰役參加者代表(長友會長岩坂李三郎)同傷痍軍人代表(英賀熊太郎)陸軍代表、海軍代表、官民代表、國防婦人代表

▲閲兵分列式＝午前十一時神社前中央通路上參加約四千名、整列順序中央通東側三笠町入口から南へ在郷軍人分會、長勇會、中學校、商業學校、青年學校、兩級中學校、少年團、童子團敷島高女校、青年學校女子部　軍用犬協會新京支部、中央通西側神社鳥居前觀閲者その右側來賓陪從者及見學團、左側國防軍人會

▲軍犬行進＝閲兵分列式が終ると引續き市中行進を起し吉野町、日本橋通、大馬路、大經路、北安路を經て忠靈塔に至り參拜自由解散

▲記念祝賀會＝時刻正午場所新京記念公會堂

▲皇軍感謝＝午後二時から國防婦人會員及主催者代表陸軍病院に傷病將兵を慰問しモンテカルロ音樂部員の餘興慰問員を贈呈、在京部隊將兵に對しては晝間在京映畫館を無料開放する

▲實戰座談會＝午後二時より太子堂に於て日露戰參加長友會員の實戰談話來聽觀迎

▲記念講演と映畫

會＝午後七時場所記念公會堂(入場無料)講演者關東軍司令部田中參謀、滿炭理事長河本大作氏、長友會員北山京平氏、同芝本辰三郎氏、映畫(オールトーキ)北滿の落花全十四卷、亞細亞の先驅全二卷

▲錦絵展覽會＝三中井百貨店

▲各學校軍人講演＝西廣場校(山口少佐)敷島高女(陶村少佐)室町小學校及公學校(柴芝少佐)錦ヶ丘高女(谷大尉)白菊校(西堀大尉)普通學校(鎌谷大尉)櫻木校(中野大尉)順天校(大西大尉)三笠校(平大尉)八島校(堤大尉)

傷病兵、遺骨の送迎に感激

皇國の爲め第一線に奮鬪し名譽の戰死或は負傷した人々の新京驛通過に際しては肌も凍る酷寒の深夜でも人のまだかいねむりからさめぬ早朝でもかゝさず不自由な老の身でまた暇ない仕事に忙殺されながらも必ず新京驛に出迎へ見送る奇篤な數名があり關東軍停車場司令部員を感動させてゐる

在郷軍人會		岩坂李三郎
中央銀行		田村新助
國防婦人會		村上英信
同		淸水トラ
同		三浦志保子
同		赤木常磐
同	青葉女中峰	宮崎ツヨ
同		光子
國防婦女會		松田初江
		桑名幸枝

早川印刷所の火災
果して放火と判明
「些細の事から恨んで」

既報三月二日午後九時半頃東五條通り早川印刷所倉庫の火災については出火原因に放火の疑ありと新京署では財前刑事が專心内偵の結果愈よ嫌疑濃厚となり被疑者山東省生れ現在早川洋行印刷部文選科姜國洲(二十三)を引致取調べ中であつたが慧眼と峻烈な刑事の辣腕に包みきれず些細なことを怨恨に放火した旨自白したので共犯者奉天生れ早川印刷所機械科見習楊恩同(十七)も逮捕され解決した、犯人姜は本月初め同僚某から「お前は近いうちに首になるそうだ」と聞かされ憤慨した姜は三月二日午後六時頃倉庫番金明植が事務所机上に倉庫の鍵を置いたのを奇貨としすぐさま倉庫の錠をはずし鍵をもとの處に置いてそしらぬ態で就業夜になるのをまつて揚油を持つてこさせ支那線香を置きこれに火をつけ再び錠をかけ宿舍にかへつて知らぬ顏をしてゐたものである

◇…全滿警察學校主事會議(けふ第二日)

インフレの波は
理髮料に及ぶ
一割方値上げを申請

新京日滿理髮業組合では八日午後公會堂で臨時總會を開き新京理髮業聯合會創立、理髮料金値上げを協議し何れも異議なく、聯合會創立工作、値上げ認可申請手續きに着手した、聯合分會創立の趣旨は附屬地業者と特別市區域業者との連絡なきため休日、營業時間等に就て兩地域境界に近き業者の蒙る不利不便尠からずに依つて之を統一したしといふにあり、料金値上の方は生活必需品を始めあらゆる物價が昂騰した今日是非とも二割程度の値上げを認容して貰はねばならぬといふにあるやうだ理髮料金の變遷の跡を辿つて調べて見ると長春理髮營業組合といふのが出來たのは明治四十一年四月でその頃の組合員は十七名だつた、理髮料金は五十錢、大正六年八月に五十錢から五十五錢、同年十一月に五十五錢から六十錢、九年一月六十錢から八十錢に上り、十年二月には八十錢から七十錢に下り、四年十二月には七十錢から六十五錢に下つた、それから暫くそのまゝで昭和四年八月に六十五錢から六十錢に下り、同九年三月に戻つて六十五錢になつて今日に及んでゐる、これによつてみると今度の料金は長春におけける大正九年のインフレ末期と同率に戻したといふ譯であるが、取締官廳がこれに對しどう出るか結局一割五歩値上げぐらひで落ちつくものではないからうかと噂されてゐる

外出中盜まる

大經路世界堂ビル十一號多良勝彥氏(二二)八日午前十一時から午後三時の間外出中表の南京錠を破壞して侵入した何者かに黑服、工業學校正服及帶時價六十圓を竊取され領警署に屆出でた

不在中盜まる

大經路第三市場二一九號下村勝雄氏は八日午後六時頃洋服ズボン、大理石置時計時價六十圓を竊取されたが、賊は家人の不在中を奇貨として表扉の施

ミシン泥捕はる

錠を破壞して侵入したものである

原籍吉林省孫魁(十八)は八日午後十一時頃西二道街塘子胡同雷方に裏から侵入しミシン一台約二百圓を竊取逃走中西三道街で新京署員に逮捕された

電氣と建築の座談會開く

建築の一機能として電氣施設の必要性は文化生活の進展と共に益々重要性を加へその完備は建築の完備を表徵するもので之が活用の如何はかゝつて建築業者と電氣業者との密接不離の提携にほかならぬに鑑み滿洲電業會社新京支店では十八日午後三時半から日滿軍人會館で土建關係者電氣作業者官廳會社方面代表者等が集つて電氣と建築座談會を催すことゝなつた

地委總會議案と新京側態度

十七、十八兩日奉天に於て開催される全滿地方委員會聯合會に提出された各地からの議案四十二件に對する新京地方委員會としての賛否態度を決する懇談會は八日午後一時三十分から滿鐵事務局會議室で開催された、各地提出議案については何れも贊成であるが奉天提出の『日本人墓地は附屬地を委讓するとも委讓せず』との議案について議論百出結局修正の上贊成することゝし修正後に於て加藤委員より贊成演說をなす豫定である

五錢タクシー
四月一日から
あす見本二台到着

先般首都警察廳に出願許可となつた滿洲國人經營の首都乘用自動車會社は目下着々營業準備を進めつゝあるが明十日日本より車輛二台が到着更に月末までに約十八台の到着を待つていよく當初の豫定通り四月一日から四百メートルまで五錢均一と言ふ低廉料金で營業開始の運びとなるが後三十台の車輛は四月中には全部到着の豫定である

屋台をとりに來い

過日行はれた第一回市街淨化デーに道路に放置し新京署に押收された屋台その他は大部分說諭して本人にさげ渡したが、屋台十數台、電柱二本は所有主が貰ひに來ぬため十一日これを解體處理してしまうことになつた、所有者はこの際至急出署せられ度いと

補導部で盜まる

八日午後五時四十五分頃吉林胡同二の二田端金松氏は北安路在郷軍人職業補導部内の帽子掛けに掛けておいた多ずーバー及トランク時價三十圓を何者にか竊取され所管派出所に屆出でた

戶數割査定會議

滿鐵新京附屬地最後の戶數割査定會議は十八日(區長)十九日(地委)兩日に亘つて滿鐵新京事務局會議室で開かれる豫定

前新京署幹部離任の挨拶

今回の關東局警務部の異動により新京より轉出の迭苗代警

松岡總裁動靜

八日東京した滿鐵總裁松岡洋右氏は九日午前十時關東軍に東條〔參謀長〕、岡部〔?〕、岡野〔?〕に來社した、因に三氏は來る十三日午前十時發列車で赴任の由

兒島咸北知事

朝鮮咸北兒島知事は十日午前九時三十五分來京十二日あじあで離京の豫定

金子遞信經理課長

關東遞信官署遞信局經理課長遞信副事務官金子勝榮氏は九日着任挨拶に來社した

西參事官

新任駐ソ大使館參事官西春彥氏は赴任の途十日來京、一、二日滯京の上モスクワに向ふ豫定

新參課長を訪問種々懇談をなし十一時過ぎ辭去した

あす(十日)

▲陸軍記念日
奉告祭、午前十時、新京神社
閲兵分列式、午前十一時、神社前中央通
記念祝賀會、正午、公會堂
軍犬訓練、午後二時、神社境内
講演映畫會、午後七時、公會堂
長勇會座談會、午後二時―五時、太子堂
日露戰役錦繪展、三中井
▲勤儉貯蓄記念日
▲全滿段外者團體對抗柔道大會、西廣場校
▲耐寒短縮マラソン申込締切文教部内大滿洲帝國體育聯盟宛
▲土木局土木講習會、午前十時半

◎…今晩の主なる演藝放送…◎
▲八・〇〇浪花節「雷電爲右衞門」(長野)木村友春▲八・三〇人形淨瑠璃「安宅の關」(大阪)竹本大隅太夫外大ぜい▲一〇・〇〇室內樂(哈爾濱)

歌はぬ樂譜 (八十三)
山中峯太郎　水門譲二畫
波の音(五)

スーツケースを片手にさげてる忠夫を見ると、正枝は、寄りそつて來ながら
『どこへ行らつしやるの?』
忠夫は、改札口へ急いで行つた。
『歸るんです』
『あら、どこへ?』
『母の家へです』
『まあ、さうお、では、あたしもお見送りするわね』
鬢髮を振ると、正枝は、切符賣場へ走つて行つた。
『東京驛!』
さう云つてる正枝の聲を後に、忠夫は、スタスタとフォームへ出て行つた。
それを、正枝が、追ひかけてくると、息を切りながら
『ひどいわ。東京驛からなの品川からなの?』
『……………』
『その後、村井俊子さんに、お會ひになつた?』
『……………』
『え、お會ひになつて?』
『僕は……會へずにゐます』
『さう。ずつと前の晩、あたしがあなたの所へお伺ひした夜ね』
『……………』
『あなた、あれから武藏野館へ、いらしたわね』
『?』
忠夫は、正枝の顏を、思はず振り向いて見た。
――どうして、そんなことを知つてるのか?
『あの時に、あたし拜見したわ。あのお孃さん、どこの方?』
『あなたと關係ない人です』
『あるわ!』
『……………』
電車が着くと、忠夫が乘るよりも早く、正枝が敏捷に、スッと入つて行つた。座席をすぐに二人分もとると、手を伸ばして、忠夫を待つてゐた
『こゝよ、あなた!』
大聲に呼ばれて、忠夫は、思はず赤くなつた。餘儀なく側へ行つて、腰をおろすと
『ね、あたしのレター、見てくださつたでしよ?』
發車の響きの中に、忠夫は強くさゝやいた。
『見ませんでした』
『まあ、どうして?』
ありありと怨む眼色になつて正枝は、グッと寄り添つて來ると
『それは……………』
『なに?』
『受け取りました』
『ひどいわ、小使が渡したんでしよ?』
『それでも、見て下さらなかつたの?』
『必要がないからです』
『……………』
ジイッと正枝は、瞳をふせた。が、一瞬に忠夫を、また見つめると
――默るほかない!
忠夫は、それきり、沈默をつゞけた。
東京驛へ着き、切符を新に買つて、忠夫は、東海道線の下りに乘つた。その三等列車の窓へ、正枝はあくまでも附いて來ると、ハンカチを振つて見送るのだつた。
さすがに忠夫は、帽子をとつて會釋した。が、座席へ歸ると、そのまゝ腕を組んだきり、目をさちた。
――歸る!
母に會ふ。老年の母に、そこに悅びが感じられる筈を、何んさした佗しさだらう。忠夫は腕をくんだまゝ、運ばれて行つた。
夜は、沼津驛で下りて、南の方の市外へ出た時、忠夫は久し振りに波の音を聞いた。
――故鄕の波の音!
この懷かしくも佗しく聞える波の音を、俊子も、この日家へ歸つて聞いてゐた。忠夫よりも一列車早く歸つて來た俊子だつた。

開演愈よ迫った 東京名題大歌舞伎
刷込み半額券を御利用下さい

東京名題大歌舞伎嵐菊左衛門一行六十餘名の一座は既報の如く十一日より二日間に亘り記念公會堂において華々しく開演するが、待望久しき歌舞伎劇の來演に歌舞伎ファンの間には前人氣の旺んなものがある、一行は東都の若手名題連を網羅した空前の豪華陣容で、絢爛の衣裳から大道具、小道具に至るまで內地一流舞台に比肩さるべき優美さを誇る充實ぶり、加へて上演脚本は何れもこの一座極付けの狂言が選ばれてゐるから開演中の盛況は推して計り難くない尙本社では讀者優待のため入場料二圓に對して半額割引券を刷込むことになつたからファンにとつては鑑賞の絶好の機會として喜ばれるであらう國都において歌舞伎を一圓の破格的割引料金を以て提供することも、從來の高率料金に對する大衆料金への華々しい先鞭として特筆されるものであらう（寫眞は市川百々太郎）

“親分はお人好し” 豐劇、新キネ

豐樂劇場、新京キネマ九日よりの番組は左の如くパラマウント・PCL一番線を掛け持ち、別に豐劇にはRKO一番線、新キネには日活作品を配した夫々三本立編成である

▽パラマウント「親分はお人好し」お馴染みジョージ・ラフトの主演するあちらの親分子分の仁義物語りで、ドロレス・コステロ・バリモア、アイダ・ルピノ等が助演、アレキサンダー・ホールの監督作品である、ウイリアム・K・リツプマンとウイリアム・R・ライトの共作によりイーヴ・グリーン他二人の脚本、キャメラはテオドル・スパーフルの擔任

▽PCL「かつぼれ人生」吉本興行の永田キングが自作自演する映畫で矢倉茂雄の監督作品である、キングの他に林寛、三條正子、香島セブン、御園ラッキー、リキー・宮川、神田千鶴子、嵯峨善兵、生方賢一郎等多彩な顏觸れが助演、賑やかなモダン萬才が描かれる、キャメラは友成達雄の擔任

▽RKO「ある女の一生」アン・ハーデイングとジョン・ボールズの主演する映畫で、ルイ・ブロムフホールドの原作に基きジエーン・マーフインが脚色、アルフレッド・サンテルが監督に當つた、お互に愛し合ひ乍ら双方の親達の無理解から別々の途を歩まねばならなかつた女の日蔭の生活を描いたもの、の典型である、ハーデイングもキャメラはルシアン・アンドリオの擔任（豐劇のみ上映）

▽日活太秦「忠治と小萬」おなじみコムビ黒川彌太郎と花井蘭子の主演もの、忠治の戀を描いた浪曲トオキイ、廣澤虎造の吹き込みである、小磯夏男のオリヂナルもの、辻吉郎の監督作品である、助演者は酒井米子山田好良、鬼頭善一郎、上田吉二郎、市川百々之助等キャメラは森崎飲彌（新キネのみ上映）

佐賀怪猫傳 けふからの帝都キネマ

帝都キネマ九日よりの番組は祝陸軍記念日特別興行として新興、コロムビア、メトロ一番線を配した左記三本立編成である

▽コロムビア「肉彈總攻擊」一八九八年米國はキューバ島問題からスペイン軍との間に戰端が開かれ、義勇軍に參加した二人の青年が戰地で知つた美貌の看護婦を中心に繰り展げる、友情と戀の物語り、ゼーン・グレイの原作によりハロルド・シュメートが脚色、監督にはアール・C・ケントが擔つた、主演者はジヤツク、ホルト、ルイズ・ヘンリー等

▽メトロ「死の本壘打」エドワード・セジウイツクが監督に當つた野球劇でロバート・ヤング、マツヂ・エヴアンス、ナツト・ペンドルトン等が主演、カーヂナルス野球團は新人ライと强打者のダンクを得てから俄然成績良く優勝候補に押されたが、最後の爭覇を決する試合において大博奕團一味の邪魔が入り本壘に殺到するダンクは銃彈の的となつて非業の死を遂げた試合前日負傷したライトが勇を決してプレイトに立つが又しても執拗な大博奕團一味が彼を狙ふ、ゴードン・ランド・フイッツシモンズ原作ハーヴエイ・スウ他二人の共同脚本である

▽新興京都「佐賀怪猫傳」木藤茂の第一回監督作品、大友柳太郎、尾上榮五郎、淺香新八郎、嵐德三郎、鈴木澄子、東良之助、松本田三郎、甲斐世津子等オールスターキャスト、巷説佐賀の怪猫傳による上島量のオリヂナルものである、キャメラは川崎常太郎の擔當

サボテン

ある結婚披露宴、型の如く月下氷人氏が新郎新婦を紹介して、と一段聲を高め、明日にも兩人相携へまして御禮に拜趨致す筈でありますが、實は今晚の列車で蜜月の旅に上りますのでいづれ改めて…それから先は雷のやうな拍手でかき消された、披露に來てゐた八千代館の京千代、感にたへずか溜息を洩らしてる、どう羨ましい?、エヽ、キミの御披露は?、あたしなんか駄目よ、謙遜するなよ、ほんとに、ところで今夜彼氏の姿が見へないが、ちよつとぐわいが悪くてやすんで居りますのよ、この問答を感違ひしちやいけません、京千代の彼氏といふのは小八千代のこと……

雜音

豐劇、新キネ、帝キネ三館けふから寫眞替り▼豐劇、新キネは久方振りのラフトものを呼びものに永田キングの「かつぼれ人生」等を配した多彩な番組▼帝キネは陸軍記念日を强調して「肉彈總攻擊」を賣りものにしてゐるが、ハツタリだけの大ものでないのが恨みで、こゝは寧ろ「佐賀怪猫傳」を賣るべきであらう、ここで引つ込したら完全に朝日座の「鍋島」の方に讓歩した事となる▼長春座は愈よあすから「荒城の月」が登場する、宣傳が利いてゐるだけに期待ものである

海外映畫短信

●ワーナーの監督ロイド・ベーコンの新作「メエクド・ウーマン」には同監督の愛孃フランシス・ベーコンが一役買つて出演したが忽ち認められて同社と專屬契約を結んだ
●「失なへる地平線」「クレイグの妻」等にも出演した舞臺俳優トーマス・ミツチエルは今度コロムビア社とシナリオライター監督及び俳優としての長期專屬契約を結んだ最初はまづ俳優として仕事することになり第一回作としてグレース・ムーアの新作ロバート・リスキン、ハリイ・ラツチマン共同監督の「インタールード」に出演することになつた

東京名題大歌舞伎一座
日時　十一日より二日間
場所　記念公會堂
讀者優待半額券
本券持參者に限り入場料二圓のところを半額割引き（但大人一人一枚限り）
新京日日新聞社

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三一二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

重要産業統制法案 愈よ近く公布の運び 遅くも四月迄には實施

滿洲國重要産業統制法については指定産業の種類、運用される企業の規模その他につき多少問題を存したゝめ公布に相當の遅延を來してゐたが、右に關してもこのほど決定をみ、目下案文に最後的推敲を加へてゐるので遅くとも四月一日頃までには公布され實施も略同時となる筈である、統制法について詳述すれば左の如くである

△法の內容

重要産業統制法は統制をうくべき重要産業の種類を指定しこれに對して企業許可および生産諸過程に對する政府の監督について規定したものである、從來においても企業許可は實業部の工務科が行つてゐるが、これに對する法的根據が無かつたゝめ今回統制法を制定してその法的根據を與へることゝなつたものであり、從來と異るのは企業許可を與へた後の生産諸過程について嚴密な監督をなして居なかつたものを統制法ではこれに對する規定を定めて政府が監督することゝなつたことである

△關係政府機關

企業許可は從來通り實業部の工商司工務科において行ふが、生産過程に關する監督は同部の總務司統制科において行ふ、從つて統制科としては業務が增加される譯である

△專賣との關係

統制法は生産に關する規定であり、專賣法は販賣に關するものである、從つて同一産業にして双方に關係するものは生産に關しては統制法の適用を受けて實業部の監督下にあり、販賣に關しては專賣法の適用を受け專賣總署の監督下に入る

△特殊會社との關係

統制法は諸特殊會社法に對する一般法ではない、從つて特殊會社は統制法の適用を受けず特殊會社法のみの適用を受ける

△自由企業との關係

統制法の指定以外にあり、かつ專賣にも特殊會社にもなつてゐない産業は自由企業であり、これについては政府よりは公司法に基く公司の設立認可を受けるのみである

△既往の企業許可

從來工務科において行つてゐた企業許可は今回公布の統制法と同趣旨によつて行つてゐたものであるから、これまでに企業許可を受けてゐるものはそのまゝ統制法による企業許可を獲得することゝなる、たゞ統制法の公布によつて新たに生産過程に對する監督を受けることゝなる

廣義國防を說明 貴院豫算總會、首相答辯

【東京國通】貴族院豫算總會は九日午后一時四十分開會

一條實孝公（火）皇國日本は皇國たる所以を發揮し四隣の諸國からは賴られ仰がれるやうでなければならぬと考へる、しかるに今日の政情をみると大いに內面的に反省の要がある、政府はまづ庶政一新の基礎として國民はすべて軍人たると一般人たるとを問はず軍人に賜りたる勅諭の御趣旨に從ひ正義を守るべきで、國民禮法を定める必要があると思ふが如何、次にわが國は大家族國家である、しかるに今日國民を律する法規は個人主義を旨とし家族主義を破壞するものである例へば今回の相續税の改正の如きその一例と考へるが如何、次に滿洲國はわが國がその獨立を保證してゐる兄弟國たる所以をわが國の方から示すべきである、軍司令官が滿洲國の大使である事實と先般の外相演說におけるわが國の對滿策とは矛盾はないか

林首相 一、庶政一新の一つは國防の充實と國力全體の發展をはかること、わが國の國體を明徵にすることを目的としてゐるものである、經國の理想を顯現することは皇國日本たる所以を示すことである、國民禮法を設けることは御尤もの意見であるから今後充分研究する

一、現今の法制が個人的に傾くとの非難に對しては家族制度の尊重も充分に考慮する、なほ相續税についてもこの點は考慮したい

一、駐滿大使の問題も現在の滿洲國內外の情勢上現制度を直ちに改めることは不適當であると考へる

野村益三子（研）外地統治の方針につき各外地長官に質したのち

野村子 外地の特殊性を認識して內地との關聯を考慮しさらに外地とこれに隣接する外國との關係につき考察することが必要である、これについては拓務省の擴大につき考へて居られるか

林首相 拓務行政を强化することは考へてゐるが、拓務行政機關を現在のまゝで强化するか全く變化せしめるかについては目下考へてゐない

野村子 行政機構改革については如何なる事柄を發生せしめるがためにその改革を必要とするか

林首相 私どもの考へる庶政一新の中味はつぎの三者である、すなはち國防の充實、國力の充實、國體の顯現である、國防充實は軍備の充實、國家總動員的準備國民生活の安定を含むもので廣いものである、行政機構の改革もこの中に入るのである

かくて午后三時半散會

豫算審議始る きのふ貴族院本會議

【東京國通】九日の貴族院本會議は午前十時廿五分開會、二十八億の豫算が衆議院より送附されたので舞臺は一轉衆議院より貴族院に移つただけに議場は緊張し傍聽席は滿員である、勞頭結城藏相登壇、衆議院における財政演說と略同樣の十二年度豫算案の說明を試み豫算の大要、重なる歳出費目、歳入中の臨時增徵税の各項目に就て說明を進めかくて衆議院はこの修正豫算を原案通り可決した旨を述べ例年より豫算案の提出が遅れ會期短かき折柄速かに御審議の上御協贊を賜りたいと希望し、約卅五分間の財政演說を終る、ついで日程を變更

一、軍機保護法中改正法律案（政府提出）を上程、溝口委員長より報告これに對する質疑に入り、大河內輝耕子（研究）自席より秘密の圖書、物件の表示に關し陸海相と質疑あつて後委員長報告通り可決、ついで日程に戻り國務大臣の演說に關する質問に入り、前日に引續き三上參次君（無所屬）文學、演劇、映畫等において孝子節婦が實際とは全然逆に表現されてゐる例を擧げて內務及び文部當局のこれに對する取締り方針及び所見を質し、さらに今日は言語、文章が亂雜であるとて言語、文章等實に影響の重大なるを述べた後學校における英語教育問題に言及すると外交官生活二十餘年中その大部分を外國で過した佐藤外相耳に手をあて熱心に聽き入る、さらに三上君學校における英語教育方針ならびに效果について文部當局に質し、さらに轉じて佐藤外相に對し前日の對支外交に關する所信表明に敬意を表して後支那の中華民國と稱するいはれ及び中華民國といふ文字につき長々と講釋的に述べて外相の所見を質して降壇、內相外相より簡單なる答辯あり、午後三時半散會

國民健保法俎上に 愼重討議を加ふ 九日の衆議院本會議

【東京國通】九日の衆議院本會議は午後一時五十分開會、日程に入り本會議唯一の社會立法たる

一、國民健康保險法案（政府提出）一、保險省法案（政府提出）一、結核豫防法中改正法律案（政府提出）

の三案を一括上程、提案理由につき河原田內相國民生活の安定上重大問題たる醫療費問題の根本解決を期し本案を提出した、と說明、質疑に入り

清水留三郎君（民政）從來工場鑛山の勞働者等は健康保險制度による醫療費輕減の恩惠に惠まれたが、今回本法案によりさらに一般國民まで高價な醫療費より救はるゝことゝなつたとて本案の提出に賛成政府は本法案のほかに更にサラリーマン階級に對する健康保護法案を提出する意向はないか、又同案に强制加入制度を採用する意向があるか、政府は醫療問題解決のため保險省の設置、醫療國營、製藥國家管理にまで努める意向であるか と質問、これに對し

河原田內相 サラリーマンの健康保險の問題は充分研究したい、社會保險の擴張發達は時勢の趨向と思ふ醫療政策の根本問題は愼重研究する

川島正次郎君（政友）本法案の趣旨には賛成するが、その運用の如何によつては醫療界に一大革命を來すであらう、本法案の根本目標は醫療費の輕減にあるのか、それとも保險の形式により醫療費負擔の方法を改めんとするにあるのか、英國の健康保險の如く國營とする意向はないか

河原田內相 從來醫療の機會に惠まれなかつた無産大衆に醫療の機會を持たせることが本案の趣旨であるたゞ醫療國營にまでゆくことは自由を阻碍することゝなるので保險の方法をとつたのである

と答へ、代つて

青木亮貫君（民政）現在産業組合の診療機關の內容は極めて貧弱である、何故にかゝる診療機關を保險組合の代行機關とするか、産業組合診療機關は赤字に赤字を重ねてゐる、如何にして之が日進月歩の高價な醫療を行ふことが出來るかされば産業組合が醫療の代行を許されば賣藥の頒布にまで手をのばせば全國三百萬の賣藥業者は職を奪はれることゝなるのではないか、政府はこれを認めるのか

と內容杜撰を責め、本案の撤回を促す、河原田內相撤回の意無きことを明かにし、青木君との間に押問答を重ねる

行吉角治君（政友）現に八千人の醫學博士を擁してゐるが治療醫學、豫防醫學と國民體位を擁護向上させる施設は一向設けられてをらぬ、それは何に基くかわが國の醫療施設が開業醫の自由に放任され開業醫が營利第一主義に墮したゝめである

と前提し農村壯丁の體位下落と農村窮乏との聯關を述べ本法案は時宜に適したものであるとて賛成論を唱へ、更に

一、開業醫は全く營業化してゐる、この事實に基き營業税を課する考へたきや

一、醫藥分業法案提出の意思ありや

河原田內相 一、醫は仁術の美風を存續したいと考へてゐるから營業税を課するつもりはない

一、醫藥分業については愼重考究したい

ついで山口久吉君（昭和）の質問に入つたがこの時議場は既に定員數を缺くため[illegible]長あつさり散會を宣した[illegible]に午後七時十四分

勞保、衛生組合法

武田德三郎君（政友）一、組合は町村を單位に組織される樣であるが町村單位では病人が少し澤山出ると組合の基礎が危くなるのではないか

一、勞働保險法に比し國民保險法の補助額が少なすぎるのではないか

河原田內相 一、氣の毒な人々に醫療の機會を與へたいといふのが立法の精神である、國民生活安定の最小限度の施設として必要と考へたものである

一、勞働保險法は産業强力の精神に出たもので健康保險とは自ら異にするところがあるのは當然である

代つて服部崎一君（民政）國民の體育向上問題よりスポーツ統制にまでおよんでその所信を披瀝し、內相の答辯あつて後

中井一夫君（政）一、衛生組合法の制定は多年の要望であつたが地方自治體の體制を紊すとの理由で實現しなかつた、しかるに健康保險組合は衛生組合法より進んだ組織となつてゐる政府は地方自治體の體制を紊すものと考へないか、もし然らずとすれば衛生組合法を制定する意思はないか

一、保險料の徵收は町村税の徵收に準ずることになつてゐる、しからば保險料さへ納めることの出來ないやうな人々が鍋釜まで差押へられることがあつては社會立法の方針に反するのではないか

河原田內相 一、衛生組合に法人格を與へることの適否は問題である

一、保險料の滯納があつては醫療の目的が達せられないので强制徵收としたが、氣の毒な人のふとんや鍋釜を差押へることは實際にはおこるまい

"國際間の合作は誠實を以て成る" 王外交部長、外交方針を明示

【南京九日發國通】新任外交部長王寵惠氏は八日午後五時各國新聞特派員を招待し新任の挨拶を述べた後、左のステートメントを發表し今後の外交方針を明示した【寫眞は王寵惠氏】

最近の國際關係の密接さは遠く昔の比ではない、國際的な合作をおいては各國の繁榮をはかり世界の平和を確保することは出來ぬ、しかしてこの國際合作促進には國民間の感情問題を重視すべきである、わが方の交誼を阻碍するが如きものは先づ第一に解決するか防止すべきである、國民と國民との間に合作が願望されるのは誠實の感情をもつてはじめてなるものであり、かくて合作の實が擧がるのである、すなはち國際合作は必らずかくの如き段階を經て成功の域に達すると思ふわが國の對外政策は中央および蔣委員長が明かにした如く國家の領土と主權は必ずその完全を保つべく、また國際關係は必ず平等互惠をもつて基礎とすべきである、この原則のもとにおいて和平の方法は國際間の友好を促進し、政治協調、經濟の合作などいづれも兩國利益の原則に基いて行ひ、相互關係のますます密接となることを求むべきである之は國際間の最大の合理的原則でまたわが政府確立の對外方針である、余はこの使命を奉じて外交を司る重大なる責任を負ふことになつたが、余は以上の趣旨に從ひ國際政治により外交を常道に載せる努力をつくして政府既定の政策を實現し對外關係の國際合作をモットーにしてこそ兩者の利益發展を獲得することが出來ると考へてゐる

現實政策注視〔外務見解〕

【東京國通】八日外交部長王寵惠氏の就任第一聲として發表した外交方針は極めて抽象的に互惠、平等、友誼等の外交の根本原則を闡明したのにとゞまり、今後の具體的方針はまだ闡知されぬので外務當局としてもその批評については愼重な態度をとつてゐるが、その趣旨は八日午前の貴族院本會議で佐藤外相の闡明した平等の立場に立つ對支政策の再檢討の方針と全く相符號するので原則論としては勿論何等反對する要なしとし、寧ろ國家的建設に邁進せんとしてゐる支那側の努力に對しては東亞の友邦として同情的な態度を示してゐる、たゞ問題はこの抽象的原則を如何にして具體化するかの點にかゝつてゐるわけで、此原則實現に當つては政治的見地から現實の事態を充分に認識し現狀に則した解決方法を講ずるのでなければ日支の平和關係を確立せんとする兩國當局者の努力は却つて反對の結果を招來し、日支關係は現在以上に惡化するものと憂慮してゐる殊に支那側の期待する平等ならびに互惠の如きは支那の國家體制の完備に伴ふ不平等條約の漸進的排除といふ程度のものであれば、わが當局としても勿論協議に應じ日本側の要求も提示する用意あるが、支那側一部に唱へられるが如き北支政權の取消し、その他非現實的認識不足の矯激な要求をなし來るが如きことゝなれば、兩國關係の常道化をはからんとする佐藤外相の眞摯なる努力も水泡に歸するほかはなからうとなし、支那側が佐藤外相の眞意を充分諒解し大局的見地よりその進退を誤らぬやう希望してゐる

日支新外相期せず 互惠ゼスチユア

【東京國通】王外交部長就任のステートメントは佐藤外相の施政演說とも見るべき貴族院本會議の答辯演說とほとんど同日同時刻頃に南京と東京で發表された、佐藤外相の答辯が驚くべき詳細率直なるに比し王部長のステートメントが餘りに抽象的に簡單であつた點は我國民にとつて寧ろ意外の感を與へた、然し王部長の聲明そのものは日本を目標にして呼びかけられたものであり、過般の林兼攝外相の外交演說及び親任式當日の佐藤外相の言明に對應したゼスチユアと解される、我が關係各方面の意向を綜合するに王部長の聲明が兩國々民感情の融和を第一に擧げ、次で主權尊重平等互惠外交の常套手段を通じての解決を主張してゐる點何れも當然の外交的ゼスチユアであり、ほとんどこれと呼應して爲されたかの如き佐藤外相の答辯演說とその精神に於て合致するを見るもので要は今後の兩者の具體的問題の處理に如何にこれが忠實に且つ現實的に採用され實行されるかにかゝるとなして居る、いづれにしてもかくの如く日支兩國がほとんど時同じくして新外相を迎へほとんど同型のゼスチユアをなして乘出し相互に立場を認め相携へて東亞の安定に向ひ努力せんとする氣運を釀成した以上、この空氣から何等かの經濟的政治的の具體的な合作方法を發見することは當然兩當局者の責任であるとしてゐる、しかし假に領土保全の一項を取上げて見るも支那側にして若しこれを理想通りに直に冀東冀察政權の解消乃至日滿支三國接壤の特殊性否認の如き態度に出るに於ては如何に兩外相のゼスチユアが巧妙なりとするも、それは遂にゼスチユアたるに止まるべく此點過去の幾度の失敗の教訓もあり王部長と雖もかゝる抽象案理想案にかゝはる事萬なかるべく十二分に大局を洞察し現實的政策發見に努力するであらうと多大の期待をかけてゐる

洪國政權顚覆陰謀發覺 極右分子逮捕

【ブダペスト八日發國通】ハンガリー政府は現政權顚覆陰謀計畫を事前に探知し[illegible]に一味の逮捕に着手したとはれるが、一味は政府黨たる國家統一黨書記長マルトン氏を中心に極右系不平分子を集めムッソリーニ伊首相のローマ進軍に倣ひ首府ブダペストに向けデモンストレーションを敢行し、獨裁制樹立を期する計畫であつた、なほ首[illegible]は下院でこの陰謀事件の[illegible]ならびに處罰方針を明か[illegible]人心の不安を一掃する豫[illegible]ある、なほこの事件につ[illegible]一部にはブダペスト駐在[illegible]ッ大使が加つてゐる等と[illegible]られてゐるが、ドイツ政[illegible]これを否定し如何にデマでも斯樣な[illegible]をデッチあげるの[illegible]善關係を故意に阻碍し[illegible]とする惡意の宣傳[illegible]へないと語つてゐる

獨緊急閣議 英佛再軍備の對策協議

【ベルリン八日國通】ヒトラー總統は八日ベルヒテスガーデンの山莊からベルリンのウィルヘルム街官邸に歸つて來たが、九日緊急閣議を召集、英佛兩國政府の再軍備につき重要對策を決定する意向と傳へられる

人事往來

▲松山茂氏（淺野物産大連支店）九日來京 都ホテル
▲永岡賢一氏（會社員）同 中央ホテル
▲伊藤三郎氏（官吏）同
▲稻村峰一氏（木材商）同
▲藤田藤盛氏（洋品商）同
▲近藤安雄氏（會社員）同

偶語

滿洲帝國建國して五周年唇齒輔車の關係にある我邦人は▼大陸に新き土を求めて陸として渡滿▼今や全滿に[illegible]の足跡を印せざるところ[illegible]日滿兩國旗は王道の和風に翻と飜つてゐる▼この大陸[illegible]求めて渡滿した邦人は果し[illegible]滿洲に土着の決意ありや否[illegible]ふとき▼その大部分が南洋[illegible]り南洋へでも出稼ぎに行つ[illegible]ゐるのと同樣な氣持である[illegible]とは▼滿洲開發の前途に[illegible]の暗さと寂しさを覺へさせ[illegible]れる▼その因つて來る源を[illegible]むるとき邦人の習性氣候風[illegible]等をあげられるが▼更にと[illegible]大なる原因とみなすものに[illegible]墓の問題がある▼卑近な例[illegible]とつて見れば新京に於て昭[illegible]七年から十一年までに死亡[illegible]た數は三千三十の多きに上[illegible]てゐるが▼そのうち共同墓[illegible]に葬られたものは僅かに十[illegible]といふ寥々たる數字であつ[illegible]▼他は全部近親者乃至縁故[illegible]に抱かれて各の郷里に埋め[illegible]れてゐるのである▼識者は[illegible]の點に括目し在滿邦人が喜[illegible]で滿洲の土に眠られるやう[illegible]方策を講じることが何より[illegible]要緊事ではあるまいか

社説　第三十二回陸軍記念日

われらはけふ躍進を續くる滿洲國に在つて、第三十二回の陸軍記念日を迎へる。かの日露戰役に於いて我が軍が奉天會戰に大勝利を得、戰爭を終局に導いてわが威武を中外に發揚した意義深い日である。われらはこの日、われらの先導者として滿洲の地にわたり戰ひに殁したる武人たちの英靈を慰むるとともに、當時の歷史を回顧し、さらに今後に備へて各人それぞれの分野に在つてその努むべきところに勵むことを期したいと思ふ。

現下の情勢が恰も日露戰前の狀態に相似するものの在ることは夙に指摘されてゐるところであり、いま前線に在るわれらの心情は殊に緊張したものがある。この緊張を弛緩せしめず、先人の功業を繼ぐ後至者としての責務に向つて健鬪すべきである。

陸軍記念日に際し　日露戰役を回顧(下)

陸軍省新聞班

(八)當時の苦衷と朝野悲壯の決意

當時露國といへば我に對し面積に於て五十倍、人口に於て三倍、兵力は五倍を有し、世界最强の陸軍國として我國とは餘り桁が違つてゐた。されば我國朝野を擧げて如何に悲壯なる覺悟に燃えてゐたかは今思ふだに涙ぐましきものがある。

當初思ひ切つて日露開戰を決し兼ねてゐた我が政府は前後十六回に亘つて露國政府に對し平和的交渉を續けてゐたが、何等の效果なく國內の輿論は漸次沸騰し、明治三十六年十二月開會の帝國議會に於ては、衆議院は時の軟弱なる政府彈劾の奉答文案を滿場一致議決した。

一方主戰論の急先鋒であつた帝大教授戸水寛人、寺尾亨、富井政章、小野塚喜平次、金井延、高橋作衛、中村進午等の所謂七博士と稱せらるゝ人々は交々街頭に立ち、「開戰一日も忽にすべからず、速に露國の不信と橫暴とを膺懲すべし」と絶叫して大いに國論を喚起した。

二月四日、愈よ日露開戰の廟議が決定されたのであるが最初は非戰論者であつた時の樞密院議長伊藤博文公が桂首相に向ひ、「果して勝味があるか」と問うたのに對し、桂首相の答へは「勝味は無い、唯大和魂で戰ふだけだ」といふのであつた。されば公は會議終了後左の如く悲壯なる決意を漏らした。

「今度の戰は實に陸海軍で我等でも成功の見込はついてゐない。併し日露の形勢は實にやむことを得ず我國は國運を賭して戰を始めねばならぬ。あの强大な露西亞の大軍が朝鮮に侵入すれば、軈て朝鮮は掠奪されてしまふであらう。それで陸軍では朝鮮で之を防ぎ止める戰略でゐるけれども之とて成功の見込十分とは申されぬ。我が海軍とても、敵海軍と雌雄を決して或は皆沈沒するかも知れぬ。誰もが勝算確かなりとは云ひ得ない。

そこで萬一にも我軍が朝鮮で破れ、露軍が侵入して來たときは、及ばずながらこの博文も、昔の北條時宗の故事に傚うて自ら武器を取り、身を卒伍の中に投じ自分の家內も時宗の妻女に見習はして兵食の炊サンにあたらせ、夫婦共々に九州なり山陰道なりに出かけ殘つた國民と共に海岸を守り、一歩たりとも露兵を日本の土地に上らせない決心である」と。

その夜伊藤公は、靈南坂の官舍に金子堅太郎男を呼び、急遽遣米使節として男を派遣することゝなつたが、その時公は左の如く述べて金子男に依賴したのである。

「いよ〳〵日露國交斷絶の已むなきに至つた。確實な勝算はないが、露西亞の壓迫に對して事こゝに至つては國運を賭して戰ふより他に道はない。君は幸ひ大統領ルーズベルトとはかねて懇意の仲だから直ぐ米國に渡つて大統領に我國の立場をよろしく通じて貰ひ度い。そして戰爭中同國に滯在して日本に對する米國の輿論を大いに有利に導いて貰ひ度い」と。

金子男はそれより寺內陸相山本海相を訪ねたが、その時海相は「先づ日本の軍艦は半分沈沒させる覺悟だ、それでも勝利を得ねばならんと良策を案じてゐる所だ」といつた。次いで參謀本部に兒玉次長を訪ふと、次長は「まあ今の所は彼我五分五分だから、私は之を四分六分にしようと、今日まで三十日餘り參謀本部に軍服のまゝ赤毛布を被つて起居し乍ら苦心してゐる。君は渡米後五度は勝報、五度は敗報を受け取る覺悟でゐて貰ひ度い。若し折角苦心した通りにうまく行けば、勝敗の電報は六と四との割合にならう」と語つたとのことである。

二月十四日早朝、金子男の葉山別邸へ、折柄同地御用邸御滯在中の皇后陛下(後の昭憲皇太后)が御微行で突如行啓遊ばされ、「今朝突然參つて實に氣の毒であつたが、實は昨夜は香川(皇后宮太夫)が東京から歸つて來て、金子が近々米國へ行くことを聞いた。今度の場合必ず重大なる要務を帶びて行くことゝ推察する。どうか十分身體を大切にして御國の爲に盡力する樣に」との御意味の優渥なる御沙汰を賜り、剰へ家族のものにまで夫々の御下賜品があつたとのことである。當時に於ける陛下の御心中を拜察するだに恐懼の極みである。

以上は國內朝野を擧げての悲壯なる決意の一端を述べたものであるが、國內全般には「臥心嘗膽あゝ十年」の軍歌にもある如く眞に擧國一致必死奮鬪の意氣は炎の如く燃え悲壯熱烈の極點に達してゐたのである。

(二)出征將士の意氣

天に代りて不義を擊つ
忠勇無雙の我が兵は
歡呼の聲に送られて
今ぞ出で立つ父母の國
勝たずば生きて歸らじと
誓ふ心の勇しさ

勇壯なる軍歌と歡呼の聲に送られて、動員隊は續々として勇躍征途についたが、その先頭第一陣を承つた黑木第一軍司令官は、明治卅七年三月廣島に於て進發に先だち左の如く壯烈なる訓示を下した。

「(前略)今や諸子は爲楨と共に帝國陸軍の先頭たり、夫れ先頭の任たる極めて重く全軍の志氣實に之に繫る、曰く剛毅、曰く果敢、曰く沈著曰く忍耐、凡そ平素涵養蘊蓄せし所を發揮して勇往直前するを期せざるべからず(中略)夫れ大和民族の兵進んでスラブ種族と戰ふこれ空前の壯擧にして曠古の盛事なり、世界各國皆耳を欹てゝ視聽す、一擧一動苟くもすべからず(後略)」

遼陽の激戰に某後備步兵聯隊の命令中には左の如き悲壯な文句も發見せられた。

「第一代の聯隊長は戰死し第二代の聯隊長は負傷し、第三代の聯隊長亦戰死せり、聯隊は三聯隊長の爲に弔ひ合戰を決行せんとす、仍て聯隊は何時何分某地附近に在る軍旗の下に集合すべし」

當時步兵第三十六聯隊小隊長堀江小內藏(後の)大尉の訣別の遺書の一節は左の如く當年將兵の意氣躍如たるものがある。

「小弟明二十八日午前十時を期し二龍山輕砲線の爆破と共に聯隊の撰拔兵九十名の特別中隊を提げ砲臺に飛込可申候成否生死天に在り候唯陛下の詔勅に對し國民半歲の熱望に對しあらん限りの精神と體力とを竭して突入可仕候斃るれば起ち傷けば奮ひ飽く迄目的を貫徹せんことを期し申候あすは二龍山頭白雪の上に大和武士の花と散らんとす人生觀じ來れば夢の如し……」

この種不撓不屈斃れて後已むの精神と意氣とは全軍將兵の中に漲り、到る所に皇軍の精華を發揮して、克く兵力の劣勢を補ひ、裝備の不良を償ひ以て連戰連勝の榮譽を獲得せしめたのであつた。

この皇軍將兵の燃ゆるが如き獻身の意氣に伴ひ、民間志士亦奮起して、橫川、沖等の如き活躍を爲すものあり、又銃後に於ては、「一太郎やーい」の母を生み、上下貴賤を問はず眞に擧國一致の熱誠を披瀝し、或は祕藏の金銀家寶簪笄に至るまで之を金に替へて國債の應募や軍資の獻納に出で、或は無爲を戒めて生產に努めたので產業は勃興し、異常なる緊張裡に第一線將兵を鼓舞激勵するに絕大なる力を發揮したのである。

四　現時の情勢と記念日の覺悟

日露戰役に於て我軍の失つた人命は實に八萬四千五百の多きに達してゐる。この尊き血により染められた滿洲は漸く露國より奪ひ返され、この靈地には今や滿洲國が誕生し、日夜その建設に精進してゐるが、之が獨立を保全しその健全なる發達を促し、以て東亞永遠の平和の礎石たらしめるには、更に我國の努力に俟つもの多大である。

然るに今や極東の情勢はこの滿洲並に帝國を圍繞して暗雲の渦卷けるが如く、正に一觸卽發の危機にすら立てるやの感がある。

又滿洲を包圍する蘇軍の兵力は日を追ふに從つて增强せられ、殊にその精銳なる科學的威力は天下無敵たるの勢を示して我を脅威しつゝある。

彼が國境に於て頻々として傍若無人なる不法行爲に出づるも、或は匪賊を操縱して滿洲國攪亂の手を弛めざるも、或は蒙古、支那の方面より大規模の思想政略的進擊を劃策敢行せるも皆是れその軍備に絕大なる自信を有するが爲である。

この蘇聯邦の東方經略の態度はその形こそ異れ日露戰前に於けるものと全く相異らざるものがあり、之に對する帝國の立場は又眞に當年を髣髴たらしめるものがある。

今玆に第三十二回陸軍記念日を迎ふるに當り特にその感を深くすると共に、この時局に對し愈よ擧國奮起の必要を痛感するものである。

佐藤新外相の方針

一

八日の貴族院本會議で、佐藤新外相の初答辯が行はれた。林兼攝外相の外交方針演說に基き廣田前內閣の外交方針を檢討しこれを踏襲し得るものは踏襲し、帝國外交の永續性を確保したいとの抱負は極めて當然のところであらう。同日の外相の答辯は大河內輝耕子の質問に對して行はれたものであるが專ら對ソ聯、對支那並びに對英國の問題について述べられてゐる。對ソ聯の問題については、既に過ぎ去つたことは致し方がない、今後現狀を打開するより外に途はないと信ずるといふ簡單な表現で述べられてゐるが、現下の情勢より考へてその意味するところは相當深いものがあるであらう。

二

對支外交については、日支問題は現在確かに行詰り狀態にある、何とかこれを打開せねばならぬ、いつまでも停頓狀態に置くことは日本のみならず支那のためにも甚だ不利益である、然らば日支關係を如何にして打開するかといふに全く新しい出發點から出直して行くことが必要であるといふのが新外相の見解であるそしてこの新しい出發點とはいかなるものであるかといふに、支那側の平等互惠の要求に對してわが衿度を示す必要がある、平等の立場に立つて交渉に當り、打開出來るものから打開したいとその次に外相は述べてゐるから、このやうな平等主義といふものが新對支外交の特質となるものであらうと思はれる。これは確かに支那に向つて呼び掛けることが出來やう。具體的に交渉がどのやうになされるかは今後の問題である。支那の外交陣營にも近時顯著な變化が行はれつゝある新しき關係の設定に最も機宜を得た方法に出ることが極めて肝要であらう。

總動員秘密保護法案　資源防諜案と改稱　適用範圍を縮減して議會へ

【東京國通】前議會で握りつぶしとなつた國家總動員秘密保護法案については、かねてより內閣資源局を中心として陸、海軍其他各關係當局で改案中のところ、最近大體成案を得たので、近く閣議を經て議會に提案する筈である、右改正案は前議會に於ける論議に鑑み適用範圍を縮減する等徹底的修正を加へたもので、その名稱も多分資源防諜法案と變更される模樣である

米人永代借地權撤廢　日米協定成立

【ワシントン七日發國通】日本における英國人の永代借地權撤廢に關する日英協定は既に成立したが、米國々務省は米國人の永代借地權撤廢に關する日米協定が成立した旨七日午後公表した

行政權移讓に備へ　新郵政法規制定　爲替儲金振替三法十一日公布

滿洲國郵政の爲替、儲金事業は大同元年以來中華郵政時代における制度をその儘踏襲して運營現在に及んで來たが、建國後順に進展せる國情に照し不利不便の點が尠くないのみならず、南滿洲鐵道附屬地通信行政權移讓後に備ふるため今回交通部では新郵政爲替法同儲金法、同振替法を制定し三月九日の參議府會議を經て十一日公布の豫定であるが爲替法は四月一日から儲金と振替法は五月一日から實施される筈である

新法の制定に當つて事業の簡易化、サービスの向上が期待されるは勿論、日滿制度の一元化による兩國經濟の緊密化が期待されてゐる、なほ各法毎に利便なる點を列擧すれば左の通りである

一、爲替關係

イ、中華式の爲替印紙の制度が全部廢止され代つて簡便なる日本式の通常爲替制度が布かれる、なほ小爲替電信爲替制度はすでに日本の方式のものを實施してゐるので新法になつても別に變りはない

ロ、現在日本關係の爲替を取扱ふ郵局は百七十六局に限られてゐるが、新法實施後は全滿何れの郵局でも例へば漠河や三河の如き僻地の郵局でも日本內地から來た爲替の拂渡を取扱ふことになる、もつとも爲替の需要の少ない奧地の郵局では當分の內小爲替のみ扱ふことになつてゐる

ハ、國內爲替の受取人が日本へ轉居した場合はそのまゝ爲替の轉送が出來るやうになつた

ニ、從來は同一人が同日に組み得る爲替の金額の制限があつたが、これを廢止したこと

二、儲金關係

イ、儲金の取扱局を全滿で約六十局を增し取扱局二百卅三局としたこと

ロ、從來の制度では預入、拂戾とも受持郵局一局に限られ不便だつたが、新法では何れの郵局でも儲金の預入拂戾が出來るやうになつたこと

ハ、儲金切手預入制を新設したこと、(學童に儲金の獎勵と預入の利便を與へる)

ニ、現在高證明の制度を新設してこの證明を受けた通帳では何れの郵局でも卽時に現金の拂戾を受け得ること

ホ、局所預入の新設、多數預け人の在る場所へは郵局員を出張せしめ出張取扱に應ずること

ヘ、在外者儲金、北支等に在る滿洲國人に對しては郵便爲替により儲金の預拂をなし得ることゝなしたこと

三、振替關係

振替は昨年十二月一日實施したばかりで當時の暫行規則中に便宜規定してある法律事項は總てこれを振替法中に置くことゝし、制度その他に全く變りはない

閣議決定事項

三月八日第十一次國務院會議は左の二件を議決した

一、海軍武官及兵の等級に關する件中改正の件
海軍諸機構の整備並に人事行政上司藥官、醫務官、軍樂少校及海軍尉補を新設の要ありこれに伴ふ等級を改正す

二、委任官官等俸給令中改正の件
海軍尉補の新設に依り委任官官等俸給令中改正をなす

中西、宇佐美兩理事來京

滿鐵理事中西敏憲氏は十日午前八時十分着列車で來京、同日午前九時十分飛行機で牡丹江へ、宇佐美理事は十日午前八時十分の列車で來京一泊、十一日午前九時二十分哈爾濱へ向ふ豫定

佐藤順天小學校長

新設の順天尋常小學校長に着任した佐藤眞一氏は九日挨拶に來社した

堀工務課長

商工省堀工務課長は十六日午後七時三十分着列車で來京する

滿洲國刑事訴訟法(三)

第四章　裁判及處分

第四十一條　裁判は判決又は裁定を以て之を行ふ

第四十二條　判決は公判の審理に基きて之を爲すべし但し別段の規定ある場合は此の限に在らず

裁定は公判庭に於て申立に因り之を爲すときは訴訟關係人の陳述を聽くべし其の他の場合に於ては訴訟關係人の陳述を聽かずして之を爲すことを得但し別段の規定ある場合は此の限に在らず

法院は裁定を爲す爲事實の取調を爲すことを得

前項の取調に付必要あるときは組織員をして之を爲さしめ又は區法院審判官に之を囑託することを得

第四十三條　裁判には理由を附すべし但し上訴を許さざる裁定に付ては此の限に在らず

第四十四條　裁判の告知は公判庭に於ては宣告に依り其の他の場合に於ては裁判書の謄本を送達して之を爲すべし但し別段の規定ある場合は此の限に在らず

第四十五條　裁判の宣告は審判長之を爲すべし但し審判長は陪席審判官をして之を爲さしむることを得

判決の宣告を爲すには判決原本に基き主文及理由を朗讀し又は主文の朗讀と同時に理由の要旨を告知すべし

第四十六條　裁判を爲すときは審判官に於て裁判書を作成すべし但し裁定を宣告する場合に於ては裁判書を作成せずして之を調書に記載せしむることを得

第四十七條　裁判書には別段の規定ある場合を除くの外裁判を受くる者の氏名、年齡、性別、職業及住居を記載すべし裁判を受くべき者法人なるときは其の名稱及事務所を記載すべし

判決書には前項に規定する事項の外公判に關與したる檢察官の官氏名を記載すべし

第四十八條　裁判書には裁判を爲したる審判官署名捺印すべし審判長署名捺印すること能はざるときは上席の審判官其の事由を附記して署名捺印し他の審判官署名捺印すること能はざるときは審判長其の事由を附記して署名捺印すべし

第四十九條　檢察廳の執行指揮を要する裁判を爲したるときは速に裁判書又は裁判を記載したる調書の謄本又は抄本を檢察廳に送付すべし但し別段の規定ある場合は此の限に在らず

第五十條　被告人其の他の訴訟關係人は其の費用を以て裁判書又は裁判を記載したる調書の謄本又は抄本の交付を請求することを得

第五十一條　檢察廳又は司法警察官裁定に準ずべき處分を爲したるときは本章中裁定に關する規定を準用す

第五章　書類

第五十二條　本法に依り作成すべき書類は別段の規定あるを除くの外書記官之を作成すべし

第五十三條　訴訟に關する書類は公判開廷前に於ては之を公にすることを得ず

第五十四條　被告人、被疑者、證人、鑑定人、通事又は飜譯人の訊問に付ては調書を作成すべし

調書には左の事項を記載すべし

一　被告人、被疑者、證人、鑑定人、通事又は飜譯人の訊問及其供述

二　證人、鑑定人、通事又は飜譯人に宣誓を爲さしめざるときは其の事由

調書は書記官をして之を供述者に讀聞かせしめ又は供述者をして之を閱覽せしめ其の記載の相違なきか否を問ふべし

供述者增減變更の請求を爲したるときは其の供述を調書に記載すべし

調書には供述者をして署名捺印せしむべし

第五十五條　檢證、押收又は搜索に付ては調書を作成すべし檢證調書には檢證の目的物の現狀を明確ならしむる爲圖畫又は寫眞を添附することを得

押收を爲したるときは其の品目及數量を調書に記載し又は別個に目錄を作成し之を調書に添附すべし

第五十六條　前二條の調書には取調又は處分を爲したる年月日及場所を記載し其の取調又は處分を爲したる者書記官と共に署名捺印すべし但し公判期日外に於て法院取調又は處分を爲したるときは審判長書記官と共に署名捺印すべし

前條の調書には取調又は處分を爲したる時刻をも記載すべし

第五十七條　書記官の立會なくして取調又は處分を爲す場合に於ては書記官の行ふべき職務は其の取調又は處分を爲す者自ら之を行ふべし

第五十八條　公判に付ては期日毎に公判調書を作成し左の事項其の他に陳述する機會を與へたること

十二　判決其の他の裁判の宣告を爲したること

第五十九條　公判調書に付ては第五十四條第三項乃至第五項の規定に依る手續を爲すことを要せず

供述者の請求あるときは書記官をして其の供述に關する部分の要旨を告知せしめ增減變更の請求ありたるときは其の供述を記載せしむべし

第六十條　公判調書は公判開廷の日より五日以內に之を整理すべし

第六十一條　公判調書には審判長書記官と共に署名捺印すべし

審判長差支あるときは上席の審判官其の理由を附記して署名捺印すべし審判官皆差支あるときは書記官其の事由を附記して署名捺印すべし

書記官差支あるときは審判長其の事由を附記して署名捺印すべし

第六十二條　公判期日に於ける訴訟手續に付ては公判調書の記載に對し反證を許さず

商況欄　(三月九日)後場

●上海標金　前引　一三三、二

●上海爲替

		賣	買
日本向	第一回	一〇四、八七五	一〇五、一二五
倫敦向	第一回	一志二片一八分二	一六分五
紐育向	第一回	二九弗一六分三	八分七

株式相場

▲大連株式(短期)

品名	寄	引
五品	一六、五〇	—
豆新	三三、〇〇	—
東新	一六〇、五〇	—
滿鐵	六一、〇〇	—
同新	四八、六〇	—
日産	八〇、九〇	—
鐘新	二〇七、〇〇	—
奉天株式(短期)		—

新京取引市況

品名	寄	引
滿取	一三三、三〇	—
東新	一七〇、五〇	—
日産	八七、八〇	—
鐘新	—	—
五品	一六、五〇	—
豆新	三三、〇〇	—
滿鐵	六〇、九〇	—
同新	四八、八〇	—
電甲	三四、七〇	—
滿毛	三四、八〇	—
日魯	七二、七〇	—

現物(一石値段)(三月九日後場)

品名	寄	引	出來高
大豆	一四、五〇	—	一車
高粱	—	—	一車
米粱	—	—	—
小豆	三五、七〇	—	一車
玉蜀黍	—	—	—
三月限	六、七六	六、七五	三五車
四月限	六、八一	六、八〇	一七車
高粱	—	—	—
三月限	四、〇五	四、〇五	九車
四月限	四、一〇	四、一三	八車

手形交換高(九日)

[illegible]

鮮魚小賣相場(九日)

百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	[illegible]	[illegible]
氷鯛	[illegible]	[illegible]
中鯛	[illegible]	[illegible]
チコ鯛	[illegible]	[illegible]
アヌマ鯛	[illegible]	[illegible]
エビ	[illegible]	[illegible]
中マナ	[illegible]	[illegible]
小ワラ	[illegible]	[illegible]
サ	[illegible]	[illegible]
鯖	[illegible]	[illegible]
赤ムツ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
アブラメ	[illegible]	[illegible]
鱸	[illegible]	[illegible]
蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
シラメ	[illegible]	[illegible]
星カレイ	[illegible]	[illegible]
目高カレイ	[illegible]	[illegible]
鰯	[illegible]	[illegible]
タナゴ	[illegible]	[illegible]
カナガシラ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
オコゼ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
タラ	[illegible]	[illegible]
帆立貝身	[illegible]	[illegible]
蜆	[illegible]	[illegible]
蛤	[illegible]	[illegible]
ムキミ貝	[illegible]	[illegible]
赤貝	[illegible]	[illegible]
生子	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]

天氣

けふの天氣　北西の風曇り後晴

日の出　前七時二分
日の入　後六時三八分
月の出　前五時一四分
月の入　後三時四九分
きのふの氣溫　最高一度　最低零下一三度〇

全滿の農村に農事組合設置

産業計畫遂行上に重要役割

滿洲國の農村に農事組合を組織して農村の經濟を掌理せしめる案については街村制との關係を如何にするかについて問題となつてゐたが、大體行政は街村機關において、經濟は農事組合においてこれを掌理し兩者緊密な連絡をとつて農村の發達に努めることにこの程政府の大綱方針を決定した、右案によれば組合員から若干の組合費を徴收すると共に政府より相當の補助金を支出し、組合は農村の販賣、購買、利用、金融の四機能を有機的に具備するものとなる筈で、これに關係した政府の豫算も縣農業團體助成費七十三萬餘圓が康德四年度に計上されてゐるので近く具體案決定と共に直ちに組合設置に着手する筈であるが、差當り縣を單位とせるものを結成し支部を設け、中央には聯合會を置くことゝなる筈である、右組合の設置によつて全國に農村經濟自治機關網が張られるわけであるが、種子の配付その他諸種の政府の農村事業に當つても組合がこれに協力する筈で、今回樹立せる産業開發計畫遂行上における組合の活躍は極めて重要なものとして期待されてゐる

農事指導員養成

農業は滿洲國民生活の基本で政府としてはその指導と行政に最も力を入れて來たが、その技術的指導員について量、質兩方面から著しく不足の狀態にあるので實業部ではさきに農事指導員を增加することとなり先般來採用試驗を行つて地方配屬員百五十名を決定したが、近く更に五十名を日本內地より採用し合計二百名を一應農業技術員養成所において訓練を行つた上縣公署、原種圃、採種圃その他へ配置することゝなつた、右によつて一先づ應急的人員配置は完成される譯であるが實業部としては今回開發計畫の樹立を機會に更にその根本策を樹てることゝなり目下その具體案を考究中である

鮮滿工業者大會 九月新京で

【京城支局】鮮滿工業者大會は滿洲工業會常任幹事野添孝生氏來城、朝鮮工業協會と打合せの結果今秋九月十日新京軍人會館で開催に內定したが朝鮮側の提案は更に研究の上決定することになつた

日滿實業協會の日本產業視察

總會を機に團体募集

日滿實業協會では四月五、六の兩日に亘り名古屋に於て開催の臨時總會を機會に日本產業視察團を組織し總會に列席せしめ同協會の趣旨徹底並に日本產業の現狀認識に資することゝなつた、視察團一行は本月末新京出發の予定で南滿北滿の兩班に頒ち左の旅程のもとに行はれる

南滿班 三月二十五日奉天發、京城、下關、宮島、嚴島、宮島、廣島、大阪、名古屋、靜岡、熱海、東京、日光、新潟、金澤、福井、京都、神戶、別府、博多、門司、大連、を經由四月二十八日奉天着(所要日數三十五日)

北滿班 三月二十四日新京出發、羅津、敦賀、福井、金澤、新潟、東京、名古屋、二見、奈良、京都、大阪、神戶、下關、博多、熊本、別府、下關、釜山、京城、奉天、經由四月二十二日新京着(所要日數三十日)

規則審議會

日滿實業協會滿洲支部規則草案審議に關する會議は八日午前十時より滿鐵事務局三階の大會議室に於て李副會長、石崎常務理事外關係者二十五名列席の上開催、理事會決議草案通り滿洲支部規則を可決、事務報告を終つて十二時終了した、可決された支部會規則は

一、本支部は日滿實業協會設立の精神に照しその趣旨の達成を期する
二、本支部は日滿實業協會滿洲支部と稱す
三、本支部は本部會則第四條規定の事業を行ふ外滿洲の特異性に基き必要なる事業を行ふものとす
四、本支部は事務所を新京に置く

で從來は本部の規則に從つて會務をとつてゐたものであるが、滿洲の特異性に基き獨特の規則を成文化した事が注目されてゐる

支部役員候補者

七日滿鐵事務局大會議室に於て日滿實業協會協議會を開催午前中に滿洲支部規約を原案通り可決午後は理事會に移り支部役員(評議員)推薦候補者增加を左の如く決定承認を求めることゝなつた、尙候補者中滿洲國人は實業部の認可次第正式決定なる筈である

牡丹江日本商工會(代表者)會長 奧野隆一
圖們日本商工會(同)會頭 宋定
錦州日本商工會議所(同)同 中原漸
四平街實業協會(同)會長 茶谷榮次郎
鞍山商工會議所(同)會頭 長井次朗
海拉爾日本商工會議所(同)會頭 脇坂正之
齊々哈爾日本商工會議所(同)會頭 大島敏敬
滿洲生命保險株式會社(同)理事長 高橋康順
日滿商事株式會社(同)社長 武部治右衛門
滿洲特產中央會(同)理事長 松島鑑
三江省樺川縣商會(同)會長 王樹魁
間島省延吉縣商會(同)會長 劉彭齡
興安東省布特哈旗商會(同)會長 姜殿維
興安南省王爺廟商會(同)會長 范香圃
奉天省遼陽縣商會(同)會長 陳德榮
吉林省九台縣商會(同)會長 孫明珍
新京頭道溝商務會(同)會長 張惠卿
以上十七名

錦縣鐵路局の營業成績

【錦州國通】二月末現在の錦縣鐵路局營業收益は旅客貨物を合せて一千九百四十七萬圓餘であるが、三月末の決算までには港灣ならびに附屬業務の收益を加へて優に二千百萬圓に達する見込で本年度支出九百萬圓を差引いても猶三百萬圓の黑字を出すものと豫測されてゐる

龍江省警務指導官會議

【齊々哈爾國通】龍江省各縣旗警務指導官會議は八日午前九時より省公署會議室に開催警務司長代理谷保安科長在齊關係機關宮部警務廳長を始め警務廳幹部二十五縣指導官等出席、警務廳長、警務司長その他の訓示ならびに挨拶あつて午前を終へ、午後は警務、司法兩科警察地方警察學校につき當局より指示および注意が與へられ午後四時過ぎ散會第一日を終了した

滿洲觀光陣整備

ビユーロー會議開かる

【奉天國通】滿洲觀光陣の整備を目標とするツーリストビユーロー會議第一日は八日午前十時より總局第一會議室において開催、佐原營業局長始めビユーロー滿洲支部理事宇佐美旅客課長以下關係者、ツーリストビユーロー東京本社宮內主事、朝鮮支部長代理稻川鮮鐵旅客係長等五十餘名出席、觀光滿洲の積極的宣傳、觀光施設、觀光機關の擴充について協議した、主要協議事項左の通り

一、全滿ツーリストビユーロー陣容の充實、ビユーロー員の待遇改善
一、優秀ガイドの養成
一、日滿ビユーローの人事交流
一、東京オリンピック大會を目標とする滿洲國內の觀光設備の充實、ホテル施設の改善
一、滿洲觀光ルートの設定

なほ會議は九日も續會される

渡滿希望者に對し極力就職斡旋

奉天市職業紹介所で

【奉天國通】奉天市公署職業紹介所では今回新しい試みとして各地各關係機關と連絡を圖り青少年の渡滿希望者に對し、滿洲の實情を紹介すると共に渡滿希望者の卒業成績、希望職業、精神的素養、家庭狀況等の調査將來眞面目な渡滿希望者に對し極力就職斡旋の勞をとることゝなり從來の濡れ手で粟式の漫然渡滿者を防止することゝなつた

滿洲稻門俱樂部 奉天滿俱と對戰

大連實業の岩瀨、滿俱阿部、電々桑原の各投手をはじめ滿洲國チームで活躍してゐる水原兄弟をはじめ滿洲野球界に多數の選手を送つてゐる早稻田大學出身選手は全滿各都市を打つて一丸とする强力滿洲稻門俱樂部を結成、その第一戰として來る四月十八日午後二時より奉天國際球場において同グラウンド開きを兼ね奉天滿俱と對戰することゝなつた、稻門クラブには本シーズンより鞍山製鐵所入りする早大の强打者長野選手の新顏をはじめ奉天電業入した大月、滿俱永澤兄弟等の强打者揃ひのことゝて各地チームとの對戰は興味深いものがあらうとみられてゐる

恩賜財團普濟會 東邊道に施療班を派遣

東邊道の復興工作に就ては各關係官廳、諸團體を擧げて之が對策に腐心しつつあるが、恩賜財團普濟會に於ても豫てより東邊道の窮民に對し醫療的方面の救濟の必要を痛感し種々對策考究中の處、今般第一次施療班として七班を編成し三月十一日より約九十日間左記地方に派遣し現地官局並に關係諸團體と緊密なる連絡提携の下に醫療救護の實を擧げ以て洪大なる皇恩の均霑普及を圖ることとなつた、尙此の計畫は今後繼續實施さるゝ豫定で目下同會では之が諸準備に忙殺されてゐる

施療地區＝長白、臨江、通化、輯安、柳河、金川、輝南、濛江、撫松、寬甸、桓仁、鳳城、本溪、興京、清源、撫順

吉林高師生 日本視察

文敎部では將來中等學校敎員として敎育界に活躍を約束されてゐる吉林高等師範學校四年生をして約一ケ月の豫定で先進日本の農村實況、社會施設、學校敎育の萬般を視察せしめることになつたが一行は引率敎師四名を含めて百十名が來る二十九日新京發まづ京城を視察して櫻花の日本に到り熊本、阿蘇、大阪、京都、奈良、宇治山田、名古屋、濱松、橫須賀、東京を巡視、四月二十六日大連着、二十七日歸校の豫定である

警務指導官會議 九日より

【奉天國通】奉天省公署警務廳では治安對策の確立、治外法權撤廢に關する準備工作の完璧を期するため省下各縣警務指導官警務局長を召集し九日より四日間同廳講堂において縣警務指導官會議ならびに敎習會を開催するが、日程左の如くである

第一日(九日)は午前十時より開始、國旗敬禮、詔書捧讀、省長訓辭あつて後民政部警務司長、關部々隊長、特務機關長、憲兵隊長、高等檢察廳長より訓辭あつて正午一旦休憩、午後は總務廳長ならびに警務廳長の挨拶あつて後治安對策に關し警務、特務、司法各班長より指示あつて第一日を終了

第二日(十日)は午前九時半開會、各廳長より意見希望の開陳あつて後治外法權撤廢に關する各科長の指示ならびに注意軍管區司令部の希望開陳、各縣の諸問事項に對する答申ならびに希望の開陳あつて第二日を終了

第三日(十一日)午前九時半開會、首席指導官に對する各科長よりの指示、注意あつて後
一、建國精神の涵養
二、國勢と警察
三、縣警察の指導要領
四、警察行政
五、一般行政と警察
等に關し敎習をなし午後七時よりヤマトホテルにおいて協和會主催の懇談會に出席

第四日(十二日)右に同じ午後は懇談會をおこなふ

職員養成機關は大同學院長が統制

滿洲國に於ける各種職員養成機關の一般訓育の統制は今後大同學院長がこれを行ふことゝなり、この旨六日附で國務院訓令が通達された、右一般訓育とは建國精神の徹底强化職員の服務上必要なる德性の陶冶、規律節制等に關する個人的及び團體的訓練を指すもので今後各職員養成機關の長は一般訓育の方針、計畫並びにその實施要綱につき大同學院長の指揮を受け且つ少くとも每年一回又は被敎育者の終講前にその査閱を受けることとなつた

總局本年度 從業員慰安計畫

【奉天國通】總局福祉課では社國線沿線從業員慰問のため慰安の列車と自動車と船舶を派遣し好成績を收めてゐるが更に積極的に從業員慰安工作に乘出すことゝなり慰安事業計畫の樹立を急いでゐるが、本年度は新線並に自動車路線の擴大とゝもに慰安列車及び自動車線を各二隊編成し、全鐵道八千粁自動車路線三千粁並に哈爾濱を起點として遠く濱洲に至る往復三千粁にのぼる松花江と黑江に慰安船を派遣して惠まれない奧地社員達は勿論一般住民の慰安を行ふことゝなつた

ハルビンに半島人公會堂設立

【哈爾濱國通】在哈九千人の半島人同胞を擁する哈爾濱半島人居留民會では豫ねて懸案の半島人公會堂設立の議を進めてゐたが近く具體的準備に着手することゝなつた、敷地は八區南馬路に選定を了し、二階建、延建坪百五坪、工費約二萬圓で、右資金はすべて在哈半島人の寄附金に仰ぐ豫定で、遲くも五月頃より着工今秋までには竣工の見込みで從來この種施設を缺いでゐた半島人同胞にとつて多大の期待がかけられてゐる

奉天＝新義州間 奉天＝京城 直通々話開始

電々會社では豫て工事中の奉天＝安東間の地下ケーブルが竣工し、その成績極めて良好なのでいよいよ來る三月十日から奉天＝京城間、奉天＝新義州間にいづれも直通々話を開始することゝなつた、これによつて滿鮮間の通話は滿洲國內と同樣極めて明瞭に出來ることゝなり、從つてその數もますます增加し滿鮮間の取引に多大の利益を齎すと共に滿鮮一如の實を擧げ得るに至るであらう

日系男教員 文敎部で募集

滿洲國文敎部では近く公布豫定の新學制による敎育行政の建直しと共に學校敎育の進展向上を圖るため今回日本內地及び全國より左の如き要綱に基き初等學校敎員五十名、中等學校敎員百名合計百五十名の日系優良男敎員を募集することになつた

一、募集人員
イ、初等學校敎員約五十名
ロ、中等學校敎員約百名

二、應募資格
1、初等學校敎員は小學校本科正敎員又は小學校專科正敎員(農工商)の免許狀を有し原則として年齡三十五歲以下の者または本年三月末日迄に師範學校、青年學校、敎員養成所又は實業學校を卒業の見込ある者
2、中等學校敎員は中等學校敎員(實業敎員を主とす)の免許狀を有し原則として年齡三十七才以下の者また本年三月末日までに中等學校敎員(實業敎員を主とす)の免許狀を受ける學校卒業者で免許狀授與の見込ある者、なほ右は日本內地人たる男子で原則として軍事敎練を終へたもの

三、應募期間
康德四年三月十日より三月三十一日迄

四、應募手續
左記書類を應募期間內に到着するやう文敎部總務司人事科宛提出すればよい
1、志願書 現職者は勤務個所長の推薦狀を添付のこと
2、最終卒業學校成績表並人物考查表
3、本人自筆の履歷書
4、最近撮影の手札形寫眞一葉(裏面に氏名生年月日記入)
5、戶籍謄本(期日に間に合ひ難きものは後送可)
6、身體檢查書

五、詮衡方法
1、第一次詮衡 書類詮衡の上詮衡委員會にて嚴正な選拔試驗を行ふ
2、合格者には直ちに第二次受驗方を通知す
2、第二次詮衡
イ、身體檢查 ロ、筆記試驗(現職者には省略することあり) ハ、口答試問

六、試驗期日及試驗場
△四月十二日(月)―十三日(火)青森△同十六日(金)―十七日(土)長野△同二十日(火)―二十一日(水)岡山△同二十三日(金)―二十四日(土)熊本△同二十九日(木)―三十日(金)新京

七、採否決定
採用決定者には康德四年五月一日本人に通知す

八、講習及訓練
採用後は吉林高等師範學校にて左記により講習及訓練の上任地に配置す
1、初等學校敎員は六月一日より十二月二十日迄
2、中等學校敎員は五月十一日より五月二十五日迄

九、待遇
1、初等學校敎員は月七十圓乃至百二十圓
2、中等學校敎員は月百圓乃至二百圓

十、旅費
採用決定者には受驗地より吉林までの旅費として左記の通り支給する、なほ吉林より任地までの赴任旅費は別に支給す
1、青森受驗者には百圓、長野は九拾圓、岡山は七拾圓、熊本は六拾五圓

十一、講習訓練期間中
1、初等學校敎員には月參拾五圓を支給す
2、中等學校敎員には月給額を支給す

がてい

春先に多い 腦溢血の手當法 こんな症状にご注意

(醫學博士佐多芳久氏談)

近來腦溢血で倒れる人が非常に多くなりましたが殊に、春先は花見などの爲、飲酒する機會が多いので起り易いのでありますが、この病氣は他の病氣と違つて全く突然に發病するものです。

つまり今まで話して居た人が突然そり返つて倒れたり、便所や湯殿で人事不省に陥つて其まま、死亡したり、あるひは命止めても半身不隨になつたりするものです、しかしこの病氣も家人が腦溢血の原因や手當などをよく知つてをると命を取止めることはむろん腦溢血にはつきものの樣に考へられて居る半身不隨も癒すことができます、大體腦溢血は四十歳以上の人に多い病氣ですが、其の前兆としては殊に體が

(肥滿) して頭が大きく前頭部がはげて顔が赤く、頸が短くて比較的脊の低い、いはゆる卒中體質の人で、片手の指先が時々痺れたり、片足に痺れが來たり頭が重かつたり眩暈耳鳴りがしたり、頭痛殊に左か右の片方にづきん／＼と時をきつてくる痛みがあつたり、顔半分殊に下半部または片手などに電氣でもかけられた樣にひり／＼と感ずる樣なことがあると、それは腦溢血の前兆であります。つまり腦の血管の一部分が破れさうになる時に以上の樣な現象を現すのでありますが、これらの前兆はほんの

(一瞬間)……で消えてまた起るといふことがないものです。從つて大事をとつて醫師の診斷をうけるといふ樣なことが少く、平常の生活を續けて居るうちに突然腦の血管が一部分破裂して溢血が起り卒倒したり人事不省に陥つたりするのです。從つて腦溢血の豫防法としては、以上の樣な前兆があつたら早速醫師を招いて豫防を講じなければなりませんが、この場合注意しなければならぬことは絶對安靜をはかることです。もとより床について頭部が高くなる樣に枕を高くして水枕または氷枕で頭を冷やし、兩便も床中で行つて、決して坐つたり起きしたりしてはいけません、そしてこの絶對安靜はこの上の前兆が

(全く) 起らなくなつても尚一週間や二週間位續けて安全をはからねばなりませんが食物は流動食や粥食、その外あつさりした消化し易い殊に植物性のものをとる樣にし、刺戟性のもの濃厚なもの脂肪に富んだものまたは肉類殊に赤身のものを避ける樣にして茶、コーヒーの樣な興奮性のものは勿ろんのこと、アルコールを含んだものや煙草は、絶對に嚴禁しなければなりません。そしてすべて便通の整ふ樣な食物を選ぶ樣にし

(果物は)……みかんの樣に酸味の强いものは禁じなければなりませんが、梨、葡萄、バナナの樣なものは差支ありません。そして食べるのに骨の折れる樣なものも避けた方が安全であります

"話の解つた人"でも 醉ふと直ぐ 暴れ出す

△……遺傳的素質に因る?

普通の人なら寒さに慄へ上り、温かいベッドを戀しがる時も—どうだい、今晩あたり飲むのにちやうどいゝ陽氣ぢやないか—何とか一と理窟つけて、町の酒場に急ぐのが酒飲みといはれる人々の常であります。

ところで、酒飲んで程よくいゝご機嫌になるのはわかつた話ですが、日頃極めて勤直で誰からも「話の解つた人」として認められてゐる紳士が、ひとたびアルコールを口にするや非常に物解りの悪い理窟に合はぬことを口にしまたはたのものに變に絡んできたりするのは一體何故でせうか?酒がさせる業といつてしまへば、それまでですが、同じく平素物の解つたといはれる他の多くの人々が、酒を飲んでもかうはならないのを見るとそこに何か特別の理由があるのではありますまいか。

文化と刺戟

一體人類の文化的發達は、外界からの刺戟のうけとり方とそして一たんうけとつたその刺戟の頭腦の中での處理の仕方で高級にもなり低級にもなります。

動物的の働き

その處理の仕方は、文化の進歩に伴ひ益々複雜となり、より人間的になります。そこで酒及びその他の痲醉物質が體内に作用すると、うけ取つた刺戟を處理する側の働きは粗雜となり反對に刺戟をうけとつて直ぐ反應してゆく側のより動物的の働きが人によつてはスラ／＼と圓滑となつてゆきます。かやうな人では醉ふに從ひ忽ち機嫌よくなり、次から次へ飲み歩くといふことになります。

解放されぬ人

併し他の人では酒をのんでもこのより動物的の働きがスラ／＼と解放されにくいやうな頭の組織をもつてゐるため酒をのめば飲むほど心の内にひつかゝりが出來て、勢ひこれを外界へ投影し、周圍にあたり散らすことになります。或はこの心のひつかゝりを他に訴へて所謂泣上戸となります。そこで不斷勤直な人も驚くほど露骨になり、物解りが悪くなつてくるわけです。たゞ酒のため文化的の抑壓がとれ、意識下の動物的人間が暴れだすのだといつても、平素同じタイプの他の人がさうならない理由としては、その人の性格に或る特別の遺傳的素質があるためといふより他に説明が困難です。併し癲癇の血すぢをひく人、外傷その他のショックをうけた後、また熱帶寒帶よりの旅行より歸つた人には往々かやうに酒癖の悪さを示すことがあります。

お料理獻立

ほうれん草 橘焼き

たゞ今ほうれん草は季節のもので、安くて榮養もあり、いゝお惣菜でございますから右近の橘にちなんだ橘焼きとしてお雛樣にも向くやうにいたしませう。

【材料】(四人前) ほうれん草 一把、鹽 少々、バタ 大匙一杯、食鹽 茶匙一杯、調味料 茶匙半分、鷄卵 三ヶ

ほうれん草をゆでゝ切り、バタで炒め、鹽味をつけよくといた玉子をかけます。

新若布と鳥貝の三杯酢

新若布の見るからに春心地ゆたかな淡みどりの軟かい品が出てまゐりました。このお料理を申上げませう

材料(五人前) 新若布 一握り、鳥貝 十ヶ、酢、砂糖、醤油、少々宛

新若布は水で軟らげ、スヂをとつてちぎり、鳥貝は茹でて細く切り盛り合せ、別に三杯酢をつくつてかけます。

貝柱の卵焼

これは芙蓉蟹のやうにした貝柱と卵とのお料理でございます。御家庭でなさるには材料が全部揃ひませんでも結構でございますからお拵らへ下さいませ。

【材料】(五人前) 平貝の生柱 五ヶ、玉ねぎ 二ヶ、椎茸 五ヶ、鷄卵 五ヶ、酒 一勺、鹽、胡椒 少々づゝ、ラード 大匙五杯

貝柱、玉ねぎ、椎茸は一分五厘の目切り、炒めて味をつけ溶いた卵にまぜてかきまぜながら焼きます。

連載漫畫【12】 漫畫大明神 田河水泡

逃げるなコラ待て

とうとうみつけられちやつた

コドモのページ

けふは 陸軍記念日 各地で紀念の催しをやる

三月十日は陸軍紀念日です、それは丁度今から三十三年前の明治三十八年に日本が當時の世界の强國ロシヤの大軍を見事に打ち破つて奉天を占領した日です、この奉天の占領で二年間も續いた日露戰爭の勝敗が決つたのです、その爲にこの奉天を占領した日を陸軍紀念日として、陸軍は勿論、日本の國の祝日として祝ろわけです

此の奉天の戰は日本軍とロシヤ軍を合はせると兵隊の數は八十五萬人になると云はれてゐます。又ロシヤ軍の戰死者は二十萬人以上と云はれてゐます。これから見ても如何に大きな戰であつたか分ります。この戰で日本軍は黒木大將の第一軍、奥大將の第二軍、乃木大將の第三軍、野津大將の第四軍の外に川村大將の率ゆる鴨緑江軍で奉天を四方から取り圍んで攻めて、つぎにロシヤの名將のクロパトキンを打ち破つたのです、この奉天の占領で日本は日露戰爭に勝つて世界の

强國の仲間に入りました、その當時のロシヤは世界で一、二を爭ふ强國でしたので日本がロシヤを破るにどんなに苦心したか知れません。ほんとうに上下心を一にして戰つたのです。この勝つた紀念として陸軍紀念日が出來たのです。そして陸軍ではこの日靖國神社で陸軍紀念祭を行ひ、偕行社で宴會を行ひます。又學校では講演會等をやりますが年がたつにつれてその當時の日本の苦心も忘れられ勝です。その當時の日本の苦心を思ひ出してこの紀念日を盛大に行はねばなりません。それから三十何年かたつた今又、日本は非常時となつて來ました

今のやうな非常時には是非とも昔の非常時にあたつての日本の苦心とその日本の偉さを思ひ出して、今度の非常時をよく切りぬけることが大切です。」

ラヂオ けふの番組

(M・T・C・Y新京放送局) 十日(水曜日)

(朝) 七、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連) 七、五〇 初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎 八、一五 氣象通報・朝の音樂(大連) 八、四五 建國體操 九、三〇 經濟市況(東京) 九、五五 陸軍記念日奉告祭式典實況—新京神社社前より中繼— アナウンサー 上森 一〇、四〇 經濟市況(大連・新京) 一一、二〇 經濟市況(東京) 一一、四〇 第三十二回陸軍記念日偕行社祝賀會實況(東京)

(晝) —靖國神社外苑式場より中繼— 講演 瀋陽城附近の戰鬪に於ける柴中尉の大奮戰状況 第十四師團參謀 歩兵中佐 矢崎勘十 〇、三九 時報 〇、四〇 ニュース(東京・新京) 一、〇〇 經濟市況(大連・新京) 三、〇〇 經濟市況(大連・新京) 三、五〇 經濟市況(東京) 四、〇〇 ニュース(東京・新京) 四、三〇 經濟市況(大連・新京)

(夜) 五、二〇 ニュース(鮮語) ナンセンス(鮮語) 申薫 下宿七號室 李貞淑外 沈永 六、〇〇 子供の時間(東京) お話 戰場美談 陸軍少將 櫻井忠温 六、二〇 コドモの新聞(大連) 六、二五 講演(奉天) 陸軍記念日に際して 橋本榮子 七、〇〇 ニュース(東京) ニュース・告知事項・番組豫告(新京) ……陸軍記念日の夕…… 七、三〇 講演(東京) —日比谷公會堂陸軍記念日祝賀會場より中繼— 陸軍航空本部長 陸軍中將 古莊幹郎 八、〇〇 軍歌と吹奏樂(東京) 陸軍戸山學校軍樂隊 指揮樂長 岡田國一 八、三五 詩吟(東京) 爾靈山 乃木希典作外 山田積善 八、四五 ラヂオドラマ(東京) 大村益次郎 池田大伍作 第一景 江戸城西丸富士見櫓(明治元年五月十五日) 第二景 甲府の宿屋甲州屋(明治二年七月十五日) 九、三〇 時報・ニュース(東京) ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京) 一〇、〇〇 座談會(奉天) 奉天戰の思ひ出を語る 内藤完太 坂本綱市 立川俊三郎 村田立雄 司會 奉天放送局長 道満謙吾 一〇、五〇 北滿の時間(哈爾濱)

陸軍記念日の夕 後八時 軍歌と吹奏樂 戸山學校軍樂隊演奏

一、行進曲「凱旋」 荻野理喜治作曲 作曲者は元近衛師團軍樂隊に居られた故陸軍一等樂手で作曲に堪能な人であつた。此の曲は日露戰役凱旋記念として國民の歡喜を表はした愉快な曲。

二、軍歌「雪の進軍」 永井建子作詞作曲

雪の進軍氷をふんで、どこが河やら道さへ知れず、馬は斃れる捨てゝもおけず、此處は何處ぞ皆敵の國、まゝよ大膽一吹やれば、頼みすくなや煙草が二本

燒かぬ乾物と半煮え飯に、なまじ生命のある其のうちは、こらへ切れない寒その焚火、煙い筈だよ生木が燻る、澁い顔して功名ばなし、スイと云ふのは梅干一つ

着のみ着のまゝ氣樂なふしど、背嚢枕に外套かぶりや、背の温みで雪解けかゝる、夜具の黍がらシッポリ濡て、結びかねたる露營の夢を、月は冷く顔のぞきこむ

命捧げて出て來た身故、死ぬる覺悟で突喊すれど、武運拙く討死せねば、義理にからめた恤兵眞綿、そろりそろりと首締めかゝる、どうせ生きては還らぬつもり

三、凱旋軍歌 乃木希典作詞 山本銃三郎作曲

我が日の本の軍人、强き敵とて侮りはせぬ、弱き敵とて侮るべき、勝ちて驕らぬ此の心こそ、强きを挫くの力と知れや、弱きを助ける情も御座る、我が日の本の軍人、千歳萬歳萬々歳、耳名を世界に輝かせ

我が日の本の軍人、君とに捧げし身には、家も命も何思ふべき心は石か黒鐵なるか、五條の勅諭を只守るなり、日本魂で勅諭を守る、我が日の本の軍人、耳名を世界に輝かせ

我が日の本の軍人、討死なせし其戰友の、功名手柄を無にしちやならぬ、國の譽も我が身の幸も、命捨てたる其骨を碎きし譽と聞けよ、鮮血に染めなす色とも見よ、我が日の本の軍人、千歳萬歳萬々歳、其名を世界に輝かせ

我が日の本の軍人、軍役終れば故郷に歸り、農工商業皆夫々に、正しき道に努むる事は職するのも心は同じ、家を富ませば國また榮ゆ、和合一致の尙武のこゝろ、我が日の本の軍人千歳萬歳萬々歳其名を世界に輝かせ

四、行進曲「帝都」 陸軍戸山學校軍樂隊作曲 帝都東京の美はしい姿を表徴した明朗な行進曲

五、帝國青年の歌 青年團中央部選 島崎赤太郎作曲

東海日出で波打つところ、國ありて日本吾等の祖國、皇統連綿榮えに榮え、世界に類なき祖國の歴史

吾等は日本の青年男兒、國家の安危は吾等に係る、未來の歴史を記さん筆に、いよよ飾らん祖國の名譽

祖先の勇氣と忠義の血潮、吾等の胸にも等しく流る、祖先の守れる御國の御稜威、世界に示さん時こそ來れ

大なる使命は吾等に降る、總ての國より優でし力、總ての智慧を、養ひ磨くは吾等の任務

吾等は帝國青年男兒、吾等は祖國を擁ひて立てり、譽の章の日の丸の旗、かかげて進まん總ての道に

六、帝國在郷軍人會々歌 帝國在郷軍人會本部制定 中山晋平作曲

建國二千有餘年、神聖比なき皇國の、世界に負へる大使命果すは誰の任務ぞや

朝日輝く旗風に、迷妄の雲拂ひ去り、正義の利劍人類を救ひ匡すはいつの日ぞ

郷に入りては忠良の、民とし働み事あらば、團て御國に捧ぐべき我等が此身此命

つとむる業は異なれど、思ひは一ついつとても、皇國を護る赤誠は我等が胸に燃ゆるなり

あゝいくそたび天皇の、降したまへる勅語の、旨聖かしこみ束の間も、心ゆるめず鍛へばや

忠勇義烈の血を受けし、日本男子の輝ける、譽たふとみいざやいざ雄々しく共に進まばや

七、行進曲「防空」 陸軍戸山學校軍樂隊作曲 國民の防空思想を鼓吹するにふさわしい勇壯な行進曲

八、日本陸軍の歌 陸軍省制定 土井晩翠作詞 陸軍戸山學校軍樂隊作曲

明治天皇御諭の、五條の教かしこみて、永く祖國の守たれ旗も旭日のしるしなる、わが陸軍の健男兒

降魔の利劍ふりかざし、無道を撃てるわが歴史日清日露戰役の先の光榮範としてあゝ皇國のため奮へ

奉天遼陽旅順口、同胞數萬紅き血を、そそぎし處今にしてその實結びて滿蒙の、そら輝く旭日照る

風雲さらに幾たびか、東亞の空に暴れんとき、進退ともに義によりて、生きて至誠のため勤め、死して護國の靈たらむ

三千年の國の粹、一兵一士ことごとく、男の權化と立たんとき、正面に向ふ何ありや、一もて千に當るべし

東亞に永く百年の、平和來さんわが使命、これ文これ武備はりて、世界懐ます魔に勝たむ、あゝ皇軍は神の劍

九、陸軍紀念日を祝ふ歌 陸軍省新聞班作詞 山田耕作作曲

奉天戰の勝どきの、聞ゆる今日の記念日は、わが陸軍の譽ぞと、國民あげて祝ふなり、日露の役に誓ひたる、擧國一致を偲びつゝ

東亞のひかり滿蒙に、躍進の鐘鳴り響き、戰果は稔る過ぎし日の、赤き血潮に築きたる天業の道揺ぎなく、平和の樂土春深し

世界の柱わが日本、同胞すべて九千萬、鐵の結びに義は重く、幾たびか經ぬる聖戰の、輝く跡を身にしめて、互き歩みや日の御旗

ラヂオドラマ 大村益次郎

後八・五五 東京より 國民皆兵創設者の俤

配役 大村益次郎 梅島昇 / 寺島參謀 坂本猿冠者 / 船越參謀 栗島狹衣 / 下女お竹 尾竹竹魚 / イギリス公使パークス 汐見洋 / その他

作者の感想 池田大伍

放送局からの御依頼で、大村兵部大輔の事蹟を仕組んでくれとのことであつたが、生憎手許で材料が揃はないのでいろいろ拜借した。その主なものは伊藤痴遊氏の維新二十傑の中の大村公の傳、また陸軍省新聞班の作間少佐の御好意で拜借した諸材料であるが、それらではじめて兵部大輔の全輪廓を明かにした。實にどうも達識な人で、その仕事が緒にもつかない中に殺されたのは。今思ふても殘念である。それに極めて親孝行であつたことも著しい美德であつた。伊藤氏の傳は實によく調へたもので、其半生がよく解つたし。新聞班から出していたゞいた材料でこの人ののこした仕事がいかに重大であつたかが解つたので、わたしは、大體それらによつて想を立てた。大輔は非常に明敏で。從つて少々皮肉なところもあつた。芝居としてはさういふ所が面白いのでその點をも少し寫してをいた。要するにこの人に於いては、一番大事なことは當時早く全國皆兵を唱へた所にある。

維新の先覺者で我が陸軍の創設に功績あり、又國民皆兵制度を唱へた人として名高い大村兵部大輔の今年が恰度七十周年に當るので三月十日陸軍記念日に其の創設者のドラマを放送すると云ふ事は、意義深い事であると思はれる。内容は史實に根據を置き、伊藤痴遊氏及陸軍省新聞班作間少佐の御好意により、參考書を借用し、博識聰明理智の人であり、手固い手法の作家である池田大伍氏に、おろし、毫本を依頼し此處に「大村益次郎」のラヂオドラマが創作された

(明治)元年五月十五日彰義隊官軍の上野總攻擊は始められた。大總督參謀大村益資郎は江戸城西丸富士見櫓の窓からヂッと戰況を見てゐたが、成算なつたものか今は眼を閉ぢスヤスヤと睡りはじめた。櫓の下では寺島參謀が船越參謀と上野表口官軍の戰線が餘り香しくないとの戰報について議論が始められた。此の聲に眼をさました大村は二人を制し、戰は夕刻迄には片がつく、昨夜總攻擊に對する作戰は總てなしをはつた自分はやる可き事はした。たゞ時を待つのだと確信をもつて語る。二人の參謀は心配してなほも色々とたづねるが大村は落ちついてたゞ之に答へず現在後の心境を詩であらはす

東台戰雲いまだ攘ふに到らず
高閣雨晉し憂國の情
蜀鳥頻り啼く機を知るの時

船越參謀は時が時なので少しムッとして、先生それは七絶ですとそれぢあ結句が無いではないかと尋ねるが、大村は笑つて出來ては居るが今の所云はれないと答へる、其處へ英國公使パークスが陣中見舞に來て、日和見的態度で彰義隊をほめるので、大村は之にチクリチクリと皮肉を以つて應酬する、パークスは大村の態度をこらしめやうと天朝方の兵隊はどの位であるか、と質問を發するが、大村は只今全國の人口調査中であると答へた、パークスは變な顔をしたので、大村は重ねて「日本は國民皆兵であるから今日生きて居る人間は老幼男女悉く兵隊であるから用心なさいと驚かす、そのうち戰線は官軍に有利になり、夕刻頃には大村の豫言通り上野の山は落ちた、皆立ち去つた後に、大村は只一人兵部省建見込五ヶ條と云ふ陸海軍創設に關する建白書を書いて居る、雨が降り出した、この時彼は一段と聲を上げて先程の七絶の結句「汝知るや秦は滅びて楚漢の爭ふを」と聲高々に詠じ、天下はみな兵でなければならぬ天下皆な兵卸づて國康しかと獨語して笑ふ

(其れ)から一年經つた明治二年七月大村は兵部大輔となり京阪の地を我が國に於ける軍事中心地帶に選定する爲め其の調査に京都に行くこととなつたが、大村の獨裁的態度に心よく思はないものは大村の生命をねらふと云ふ樣な不穩の風説が傳へられた。これが爲め、大村は道を中仙道にとり、人の目につかぬ樣京へ向つた。甲府の宿で昔の蘭醫寺島參謀と出會ふ。其處へ又船越參謀が早駕でやつて來て、岩倉公からの言葉を傳へる、大村は二人に舊來の陋習を斷の一字で改革して行くに伴ひ、反對派の人々に自分はうらまれ、命をねらはれて居る、自分は決して命を惜しむのではないが、御國のため皇軍建設の挫折するのが心配であると悲しむ、この時給仕に來てゐた女中が仔細ありげに泣き出すので、大村が不審に思ひ尋ねると、此の女は旗本の娘で父兄は上野の戰爭で討死した、其の後便りを求めて此處へ來てゐるうつて、日頃の恨みが昂じ、命を貰はうと思つて控へてゐたと答へる、大村は之を諄々さとし、總てはこの樣な時に生れあはせた人の苦しみだ、日本の國のため、大村の生命を預けてくれと頼む、一同は此の言葉に胸を打たれて泣く、大村はおれはもう今日から生きてはゐないのた、この胸にあるのは皆お前達皆の手で出來る立派な徴兵令だけだと云ひながら京都にむけて出發する

詩吟

後八・三五(東京) 山田積善

一、爾靈山 乃木希典・作
爾靈山は嶮なるも豈攀ぢ難からんや
男子功名克艱を期す
鐵血山を覆ふて山形改まる
萬人齊しく仰ぐ爾靈山

二、寄家兄言志 廣瀬武夫・作
動皇の大義太だ分明
報國の丹心七生を期す
傳家一脈の遺風在り
誓て名聲を擧げん弟と兄と

三、從軍作 藤田小四郎・作
時を憂ひ世を慨くは眞に無用
月に嘯き花に吟ず郤つて精あり
營外今朝大若乱倒はよ
將軍薪臥して未だ全く醒めず

四、大楠公 梁川星巖・作
豹は死して皮を留む
豈偶然ならんや
湊川の遺跡水天に通る
人生限り有り名盡くる無し
楠氏の精忠萬古に傳ふ

學藝

ポプラの部屋 (四)

福田輝一郎

夏であつた、陽がかんかんと當つておりながら狹い窓からは風が少しもはいつて來ない、部屋のなかの空氣がかんかん熱を含んでわたしはじりじりと汗ばんだ、わたしは階下からバケツにいつぱい水を汲んでふうふう云ひながら階段を昇つた、それからこの窓にバケツを置いて一と休みすると、こゝからばさーつとポプラ目掛けて水をぶつかけてやつた、あとにもさきにもふつとそんなことをやつてみたゞけなのだ、板塀に當つて玉のやうに光つて、四方に散つて大抵は階下の淫賣婦の窓が吸ひ込んでしまつた、少しは涼しくなるかも知れないとわたしはそんなことを思ひながら、バケツをぶらんぶらんと振り部屋を出るのと、頭からびつしより水を浴びたとか云ふ男が紲のまゝがみがみ階段を上つて來るのと殆んど一緒であつた、その男の荒々しい平手で頰ッペタを撲られわたしはもう少しでぐらつとするのをやつと踏みとゞまつたそのの代りわたしはまんまとその男をまるめこんでわたしを買はせてやつたのだ、馬鹿な奴で晝の日なかからこんな筈ではなかつたとつぶやきながら歸つた、もう三月も前の話だわたしはその金を握ると階段をとんとんと下り、おいお藥酒だ酒を飲むのだとがなり立てた、調理場から一升瓶をさげて來るとわたしとお藥は冷のまゝがぶがぶ飲んだ、二人で淫猥な唄を歌ひながら狹い部屋を無茶苦茶に暴れ廻つたわたしの着物が何かにひつかゝつてちぎれた機會で二人はどつと笑つた、それが面白いといつては二人は着物をづたづたに引きさいた、青筋をたてゝ怒鳴り込んで來た女將をわたしはどうしたか知らない目が覺めると二人は眞つ裸で寢てゐた。「お藥ちやん」とわたしは二度ばかり搖つてみたけれど、お藥はぐつたりとして動かなかつた、わたしは着物を腰に卷いて頭を五六度左右に振つてみた、頭がづきんづきんとして、わたしはやはり醉つてゐた。

わたしのぼんやりした目にふと額に入つた赤坊の死顔が映つた、嬉しいにつけ悲しいにつけお藥の大切なマスコット、酒に醉つてはこの馬鹿奴郎何故死にやがつたんだと、額を引きちぎり押入のなかにおつぼりなげ、朝になつて醉が醒めるとぼろぼろ涙を流しゐるお藥をわたしは度々見受けた、お藥はこの部屋で男の子を生んだのだ、丁度六ヶ月程前三月もう二三日で終らうといふ日であつた。子供を産んだら後はどんな無理でもするから病院に入れてくれて時期が近づくにつれお藥はだんだんと必死になつて女將に頼んだ、どこの馬の骨だか相手も知れない胤を姙みやがつて病院がきいてあきれると女將はりきんだ、わたしも度々女將に頼んでみたけれどお藥の頼みはついにきかれなかつた。

四溫の初まつた暖い日であつたお藥は眞つ蒼な顏をして男の兒を産んだ、赤ん坊の身體には點々と紫の斑點が見えた、わたしも眞劍な顏付になり産婆と二人で赤ん坊の口にゴム管を入れていきを吹き込んだり、足をつるしてざかさにゆすつてみたけれど赤ん坊は一口も泣かなかつた。

身體に惡いかといふのを無理に馬車にのつかつて、わたしと一緒にお藥は骨ひろひに行つた、雪の道をがたがたと名も知れない街を通り拔けてわたし達は火葬場へ向つた。ちかちかとひかる雪の反射のなかを、お藥は目が開けられないといつて泣きはらした目をつぶりやはり涙をぼろぼろとこぼした、ごらんなこんな小さな骨といくらもないきれいな灰をかきわけ二人で拾つては笑つた、お藥しつかりしなきあだめたとつい云つた言葉がお藥に云つてゐるつもりでもなぜかわたしは泣けてきた二人は歸りの馬車のなかで抱き合つて泣いた。

酒でも飲まんとやりきれないと毎晩のやうに醉つぽらつて暴れたお藥のあの頃の苦痛が思ひ出される、へん陰氣なお藥の部屋奴とわたしはぐらつく足で立ちあがりお藥のからだに着物をかぶせてやつた

わたしは階段の手すりに全身の重みをかけてやつと部屋に歸つて來た、わたしはお藥と醉つぱらつて踊つて何時間眠つたのであらう、あたりはぼんやりと黄昏れてゐて窓が明るかつた。

わたしは街へ出よう、着物を着替へると團扇をもつてわたしは通へ出た、どこであつたか馬車をつかまえて乘り、どこでもいゝからつゝ走れとどなつた、ぶつと馬車の止つた拍子に目が覺めると、南廣場の處を何處へ行くのかと馬夫がわたしの方をふりかへつた、わたしは右右と指差したそれでわたしは何回ぐるぐると廣場を廻つたのであらう。四回目であつたか五回目であつたか、馬夫がとうとう腹を立てゝこの氣狂ひめとわたしを引きづりをろした。

驛に通じる日本橋通の街燈が祭の燈のやうにぼんやり見えた、そのなかをゆらゆらと揺れるあかりが列をなして走つた。

わたしは公衆電話のところに凭れ誰か一緒に遊ばないかとしばらく其處に立つてゐた

建築の色彩價値に就いて
―詩的建築―

平井輝一

解氷期を目前に控へて吾が建築界が漸く活況を呈し今年度の尨大なる豫算を見る事は(鐵の暴騰にも依るが)何れにしても吾等其の業者にとつては眞に喜ばしい現象である併し乍ら概觀するに新興都市としての吾が滿洲國の建築が餘りに無味乾燥にして美的方面に乏しい傾向がありはしないだらうか。

尤も當地の建築界は內地や歐米に比して著しく期間の相違を來たし、急を要して完成を見ねばならぬと云ふ甚だ不利な狀況にあることも酌量する餘地は充分あるが、今日世界各國が非常なる發展過程にある建築界に於いて吾が滿洲國のみ徒らに逡巡することは一考を要する必要が大いにあるのではなからうか―。

× ×

私はこゝに詩的建築と云ふ言葉を用ひたが、之を吾人が餘りに抽象的に解釋しては却つて誤弊を招く虞れがあるから豫め斷つておく。

人類が感情の支配下にあることは誰しも拒まない事實であるが、感覺を通して生れる詩情、視覺を透して湧出するところの詩的觀念、とさう云つたものは各人の大小を問はず一様に潛在意識として存するものである。或る一つの色彩が如何なる感情を惹き起すかは各人によつて異り、又時代に依つて變遷するものであるが、或る程度までは普遍的な色彩の象徴的意義を見出すことは可能である。

勿論私は色彩のみによつて建築に國民性や時代性や或は藝術的價値を表現しやうと云ふのではない。綜合美術としての建築に於いては色彩はその幾何かを效果又は不效果に導くものであるからである。建築に於ける色彩は周圍との調和によつて始めてその價値が現はれるものであつて=或る場合に於いては他との極端なる不調和色に依り却つて效果があるものもあるが、之は甚だ危險性の伴ふものである=遠近に於て各々其の建築全體の六%乃至八%及び二%乃至四%の效果をもたらすものである。併しながらその環境的調和、不調和によつてはそれが反對に逆立的效果を起す場合もある。

色彩も一般形式と同様に建築の種類によつて數多くの調和性を帶びるものである。例へば、宗教建築、農民建築等は夫々特種の建築樣式と習慣的色彩を保持してゐるが故に吾々の習慣性によりその藝術的價値を認識するものである

德川の爛熟時代に於いて一代の俳聖松尾芭蕉が人間界を逃避し自然界に自己の安住の地を求めたと云ふことは或は極端なる異端者として見ることが現代では至當であるかも知れないが、矢張之は一般人類の本能意識であると信ずる

彼が鴉になつて本統の鴉の句を生み、蟬の啼き聲に自己を沒却して有名な『閑さや岩に泌み入る蟬の聲』を詠んだのも畢竟、建築が周圍の狀況に自己を融和さして本統の美を表現するのも同一理論である。

併しながら周圍の調和のみによつて美を表現することは又粗漏の至りであつて、それには種別建築としての甚だしい拘束に隨はねばならぬものである。つまり、宗教的の美、都會美、野性美、人工美、自然美或は習慣美、個性美等々である。又一般に國民性や傳統的色彩美を尊ぶのは必然であるが建築の種類に依つては或は淸淨色を尊び、獨立色を柔軟色を、莊嚴なる色彩を又地理的關係に於いては暖色を寒色を、涼色を、野趣的色彩を等々あらゆる廣範圍に亘つてその環境等と共に種別や個性の色彩は相違するものである。之は一に設計者の重責であり、色彩觀念の有無にあるのである。

色彩方法については多端に亘つて甚だ至難な問題であり道德性、時代性の部分的考研科學分析、傳統性、習慣性、をなさなければならないので一朝にして解決することは出來ず、之は後日改めて稿を草したいと思つてゐる。

さて話は甚だ前後してしまつて申譯ないが、芭蕉が自然界に本統の棲を求めながら、且つ人間界に絶えず愛着を覺えたのと同様に建築に於いても內部には常に個性を尊重し建築の種別本能を充滿させねばならない。

古來からの建築に依つてみても、日本固有の寺院に於いては總てが朱塗り一點張りの觀がある。勿論それは材料の補強と云ふ點にも充分價値は認められるが、一面に於いては文化の幼稚な時代に於いて如何に人間の主觀力が鋭敏であつたかと云ふことが想像出來るだらう。つまり朱は色彩學から云へば極端を意味し、熱烈であり、火の色であり、活力を象徴し、煩惱、情慾、喜悅、熱愛、至誠等を象徴する法悅に醉ふ人々の心理を色彩によつて善導するものである。

一切の邪念を排し、熱烈なる信仰心を呼び起こすのである朱より來たる最も强烈なる情慾の念は寺院と云ふ一つの雰圍氣と、院寺に對する一般的因襲道德と宗教的良心から完全に之を抹殺してゐるのであつて唯それが寺院であるが故に於いて吾々は何等の情慾的私念も起きないのである。

試みに之の色を花柳巷間に移したならば、果してどれ程の效果をもたらすか計り知れたものではない。で、建築の色彩に就いては周圍の狀況に對する調和性と相俟つて建築の目的種別等に依つて始めて效果的役割を演ずるものであると云ふ事を以て結論とする乞ふ、世界のシンボルを吾が滿洲國建築界の上に立てられんことを。

寄る魂 ―3―

稻垣輝安

むせびなく君が魂にあひふれてわが胸中にしむ涙あり

相いたはりてわれ等は來りぬほのぼのと君が魂の戀しき夜あり

二つの魂の隔たりゆくにふれて尙ほ强くより合ふ魂を意識す

ふと二つの魂の合ひしを驚きぬ誓しの隔離をもなき仲なれど

思ひをればますます强く意識する君への愛に切なきものあり

わが魂の中に生きゆく君ある故樂しきおもひに生きてゆくかな

君が佛の冴えくるまゝに甦がえるおもひは胸を唯にこがしつ

君を愛する事實におもはず眼は覺めたり夢と氣づけば湧く寂しさ

むせび泣く君が心のかげにふれ萌えんとすればしむ涙あり

ヘレン・ケラー女史 四月來朝

陽春四月櫻の日本を訪れる盲の女聖ヘレン・ケラー女史の歡迎準備はライト・ハウス、大阪盲人協會首め全國愛盲社、婦人諸團體の手で着々進捗してゐるが女史の日本滯在日程についてはライト・ハウスの岩橋武夫氏と女史に同伴して來る秘書トムソン孃との間に打合せの結果、滿洲方面の巡回をいれて約八十日間といふ長期の旅程が正式に決定した、これによると四月十五日横濱入港の淺間丸で來朝してから七月上旬日本を去るまで北は北海道の涯から九州に及ぶ殆んど內地各府縣の著名都市は勿論、遠く朝鮮、滿洲各地にわたつて巡回講演が續けられる豫定で、同女史としては文字通り寧日寸暇なき多忙の旅である

學藝消息

△柳木一良氏　今回、滿洲拓植株式會社に入社した、事業部建設課(康德會館內)に勤務

三月柳壇課題

一、雜吟　十句
一、課題吟(句數制限なし)「交番」「卒業」二日直
一、〆切　三月十日
一、投句所　蔡光街滿日會館　松尾小女郞宛

祝建國五周年

織物問屋

萬車社扱

萬

株式會社
伊藤萬商店
大阪市東區本町

株式會社
丸紅商店本店
大阪市東區本町

株式會社
田村駒商店
大阪市東區安土町

大

株式會社
外市商店
大阪市東區本町

稻西合名會社
大阪市東區本町

株式會社
山口商店
大阪市東區備後町

外村與左衛門商店
大阪市東區北久太郎町

小泉重助商店
大阪市東區備後町

けふ陸軍記念日

全市を彩る軍國風景

想起す日露の役

英靈"新土"に安かれ

滿蒙の天地に大和民族飛躍の烙印を押した奉天入城！感激の戰捷に微笑む幾多英靈の精魂、けふ廻り廻つて第三十二回目の陸軍記念日だ、國運を賭し燦然旭光に輝く日の丸旗を揚げた聖地に滿洲國が育つ、回顧せよ日露の戰ひを！この日國都新京は四圍の諸情勢を反映して陸軍讃仰と非常時の警鐘を高らかに打鳴し感慨また無量、盛大な記念の諸行事が繰り展げらる

早退、新京神社の奉告祭其他行事に參加することゝなつた

全滿段外者柔道戰

けふ午前十時、商業講堂開催

滿鐵運動會新京支部、新京體育聯盟主催第四回全滿段外者柔道對抗試合は十日午前十時から新京商業學校で開催されるが、出場團體及び選手氏名は左の如くである

△新京中學校A組監督谷口榮治、大將關本、副將赤穗、田中、仁平、森永、補欠宮崎、B組監督內海、大將葉若、副將岩吉、田中、滿田、稻川、補欠本多、C組監督空閑、大將伊藤、副將鄉、塚本、塗石、秋山、補欠中原、D組監督松本、大將齋藤、副將石田、梁横山、河野、補欠西村

△滿鐵育成A組監督赤堀芳松、大將原田、副將近藤、中村、平河、小島、補欠玉川、B組大將松原、副將神田、武藤、前野、伊藤、補欠大橋

△電々監督古島正義、大將山田、副將諏訪、山田、栗山、廻、補欠中村

△撫順道場監督岡野太治、大將谷口、副將毛利、佐々木、松田、加藤、他村

△新京署　大將磯飛實、副將木田、渡邊、古江、須藤、關

△新京商業A組監督木幡泰治、大將崔鳴鶴、森山、安西、隈上、富田、B組大將西村山縣、田村、木下、君山、神保、C組大將佐竹、玉井軍信田中、江口、馬場、D組大將井手、福島、小笠原、多田、福永、鈴木

午前十時から中央通の交通遮斷

十日陸軍記念日に當り中央通路上において新京警備司令官安藤少將閲兵のもとに在京鄉軍、青訓、中等學校生徒および防護團の閲兵分列式が行はれるので、新京署では同日午前十時より午後零時半まで中央通の交通遮斷を行ふことゝなつた

新京事務局 神社參拜

滿鐵新京事務局では十日陸軍記念日にあたり事務に差支へなき限り午前九時三十分から

全滿匪賊數激減

事變當時卅萬から僅か一萬へ

樂土完成近し（各地別匪賊數）

事變當時三十萬の匪賊も其の後日滿軍協力の涙ぐましき掃匪工作に依り着々治安を恢復し本年二月末全滿匪賊數は事變當時に比し實に三十分の一の一萬內外に減少し匪賊のゐない樂土滿洲の完成も近きを思はしめてゐる、各地別匪賊の數は左の如くである

地域	匪賊數
△奉天省、安東省	約三千五百
內　東邊道	五百
東北部隣接省境	五百
三角地帶	五百
其の他	五百
△吉林省　間島省	五百
△濱江省　三江省	五千
內　西部賓綏地方	約千
東部	約千
東部國境方面	約五百
濱北線　方面	約千
龍江省　黑河省	約百
錦州、熱河省	約千

右の內北滿方面の匪賊は尙活躍中で共產系匪賊は地盤獲得のため狂奔中で樂觀を許さぬものがあるが、例年の如く春暖の候に向つて匪賊も勢を盛り返すものとみられ警戒されてゐる

武勳は輝く、皇軍の奉天入城

春の明粧は……先づ街頭から

特別市十六日から清掃週間

春の明粧はまづ街頭からとあつて首都警察廳衞生科では市公署と提携して來る十六日から一週間、保甲機關、自衞團員を總動員し特別市一圓に亙つて黑ずんだ雪の殘滓、其他汚物の清掃週間を實施することになつた、管下各署の日程並びに清掃區域は次の通りである

△十六日大經路警察（朝日通一新發路、清明街一長春大街一平安街北側、大馬路西側）

△十七日長通路警察（東七馬路一大馬路東側、長春大街一東大橋一吉林鐵路）

△十八日四道街警察（平治街南側一東西二道街北、大馬路一長春大街南側、東大橋一東伊通河）

△十九日南關署（東西二道街南側、大馬路一伊通河、大同大街東側一南嶺）

△廿日同署（全安橋東側一吉林大馬路一東盛路一嶺路）

△二十一日寬城子警察（寬城子一韓家屯、孟家橋一軍用路一東安屯）

△二十二日大經路警察（清明街西側一大同大街を西へ至聖大路）

皇軍慰問品に續々禮狀

客年十二月新京特別市公署、協和會、滿洲國國防婦女會の三者の唱導に依り寒風氷雪の曠野で國境の警備に、匪賊の日討伐に夜辛勞する日滿軍警に首都市民の銃後の熱誠を表す可く慰問品の募集が行はれ多大の成果を收めた事は當時所報の通であるが、其の後此慰問品の屆けられた各部隊では首都市民の厚い後援に對して大いに感激して左の如く續々禮狀を寄せて來た

皇紀二千五百九十七年の新春を迎へ日滿不可分關係の實年と共に愈よ密に皇威燦然として大陸に輝き我等が理想境の顯現を見るは眞に御同慶に不堪、滿蘇東部國境の風雲愈よ急なりとは雖も一死報國皇道宣布の第一線に立ちある重責と光榮を痛感し愈よ一致團結し武を練り皇運扶翼の聖業遂行に精進し銃後皆樣の御期待に添ふべく粉骨碎身盡忠報國の決心です心情細かなる銃後皆樣の御慰問に對し思ふ一端を披瀝し御禮の印まで

一月廿四日

琿春國境監視隊

九沙坪派遣連將兵一同

藤島新署長より本社宛挨拶電

鞍山警察署長から新京署長に榮轉した藤島宣法警視は來任に先だち九日本社宛左の如く電報で挨拶を寄せた

貴地警察署長を拜命す宜しくお願ひ申上ぐ　藤島

なほ同新署長は十三日着任の豫定である

"青い鳥"第一回公演

四月十一日開催豫定

子供の情操教育を根本に昨年十一月二十三日呱々の聲をあげた兒童舞踊研究團"青い鳥"は現在の會員七十餘名、滿鐵新京ブラスバンド指揮者加藤哲之助氏、中山氏等の獻身的努力の結果著しき進境を見せてゐるが、同研究會第一回の發表會は四月十一日開催豫定のもとに目下猛練習をつづけてゐる、豫定曲目は左の如くである

▲第一部

一、基本舞踊、二、花嫁人形、三、組曲滿洲風景Aマーチヨ、B高脚踊り、四、待ぼうけ、五、叱られて

▲第二部

六、組曲お伽の世界A朝牧童の戯れ＝シユートラス曲藝術家の生涯B畫1オランダの踊り＝グリーヒ曲ノルエー舞曲より、2オモチヤの兵隊＝シユーベルト曲ミリタリーマーチC夜ワルツ郭公

七、荒城の月、八、證城寺の狸囃

▲第三部

九、組曲良寬物語りA良寬さんの話、B小供の踊り（良寬さんより）Cニヤン〳〵猫の子D濱千鳥、Eホーホー驚、F里の子の踊り

なほ組曲滿洲風景は滿洲の生活風景のうちで一番小供の世界に入り易いものを組み合せたもの組曲良寬物語りは小供の世界にとけ入つたあの良寬の日常生活のうちに小供の世界を展開したものである

東京名題大歌舞伎

愈よ明夕開演

五時半より公會堂

本社後援

東京名題大歌舞伎一座の開演は愈よ明十一日午後五時半より記念公會堂において華々しく行はれることになつたが、一行は九日撫順より新京を通過吉林に向ひ、明十一日午後零時三十分着列車で新京乘こみを行ふことになつてゐる、この一座は所報の如く從來滿洲を訪れる演劇團の何れもが少數の人氣役者を以て唯一の賣りものにしてゐるのに反して、今回は東都梨園の中堅六十餘名を網羅し、端役に到るまで藝達者の精鋭連を配したところに、陣容としての强味があり、これらの諸優によつて織りなされる競演は亦めつたに見られぬ昂奮と充實せる舞台面を展開するであらうことが豫想され、若手通にのみ見られる熱意が好劇ファンの要望にうつたへてやまないものがあらう、一般料金は二圓

本本本本本本本本本本本本

本社では來る三月十日の陸軍記念日の

本本本本本本本本本本本本

無線佛浮ぶ

哈市の實妹に送附

百數十日も西本願寺に待ぼうけを食はされ無緣佛にならうとした滿鐵第五水源地警備隊員宮澤台八君の遺骨は百數十日間西本願寺に於て親切な回向を受けてゐたが、近く某處の情けある取計ひで哈爾濱の實妹の許に送りとどけられる事となり、目下哈爾濱と交渉中である

掏摸常習捕る

七日午後二時頃八島通り郵便局で西七馬路崔徵淑が用をたしてゐる傍らから支那人が同人のオーバーのポケツトより六圓餘在中の財布を拔き取つたところを新京署成松刑事が發見取り押へ本署に引致調べたところ吉林省生れ前科三犯徐德昌（二六）と云ひ掏摸常習の親分で去月十八日にも金泰岸行賣場で日出町二丁目協和旅館止宿の横濱市力石力松氏の百七十八圓入りの財布を掏摸取つたことを自白してゐるが餘罪多數ある見込みで引續き取調べ中である

全滿各銀行に於る聯絡、基礎確立

普通銀行聯合組織さる

滿洲中央銀行主催第二回主要都市銀行懇談會は既報の如く八日午前十時より午後六時に至るまで次の諸問題につき熱心に討議懇談を重ねた

一、地方銀行の營業狀態とその立場につき意見を交換し財政部および中央銀行より銀行業の進むべき方向につき說明あり

一、地方銀行は從來の錢莊、錢舖等の如き觀念遺習を脫却して今日の滿洲經濟開發に適應するためその基礎の確立、內容の充實に努む

一、一般民衆をして銀行を利用せしむるの慣習を一層奬勵すること

一、銀行は民間の資金を吸收してこれを生產的に活用するに努め、殊に零細なる預金をも集めることに工夫すること

一、手形取引の普及奬勵

しかして今懇談會における最大の收穫は滿洲普通銀行聯合會を組織することを申合せたことで、中央銀行と地方銀行との聯絡はますます緊密となつて來たが、これに加へて同聯合會の結成は全滿銀行間の聯絡の基礎を確立するもので差當り新京、奉天、哈爾濱、安東の各銀行より一行宛幹事銀行となり、新京を中心とすることに打合せを了した、右の如く全滿各銀行が舊時代の遺風を漸次清算して新式銀行として再組織され滿洲產業の開發に對應せんとする機運はすこぶる注目すべきものがある

母ちやんは浮氣

子供を捨て、女給

原籍鹿兒島縣佐々木カネ（二十七）は大阪府豐能郡で夫が製材工場を經營し何不足ない家庭の主婦で榮華にその日を暮すうち昨年秋夫秀二氏が長女露子（六）次女洋子（四）を殘して早逝した、あとは生涯安樂に生活の出來るだけの遺産をもらひながら子供に對する責任を忘れ何時からか情夫と道ならぬ享樂に耽り遂に本年一月幼兒を置き去りにして新京に駈落したので立腹した秀二氏の實兄は本月初め新京署に搜査方を依賴して來た調べてみるとこの女、二月中旬から東一條通り美人座に勝美と呼んで女給になりすましてゐることが判つた、係官も此の母ちやんには呆れてゐる

滿鐵社員會の新舊聯合評議員會

滿鐵社員會では三月末をもつて今年度を終り新年度となるのでこれに先立ち九日午後四時から新舊聯合評議員會を事務局內において開き左記議題につき審議を行つた

一、十二年度各部長委囑の件

二、十二年度各分會代表委囑の件

三、十二年度豫算編成に關する件

四、協和會滿鐵分會組織および役員委囑に關する件

五、本年度重要行事實施經過報告ならびに重要懸案事項報告の件

六、本年度現在以降の行事および四月一日（會社および社員創立記念日）の行事實施に關する件

プレンソーダ

國都の各映畫館では映寫の幕合で「尙甚だ恐れ入りますがお煙草は廊下或は休憩室でお願ひ致します」とやつてゐるが、觀客はそんなことは馬耳東風盛んにスパリ〳〵と煙の輪を吹いてゐる中に案內ガールに灰皿をもつてこさして堂々とやつてゐるものもゐる▼いくら云つてもきかぬ觀客も觀客だが灰皿出してサービスする映畫館も映畫館だ、毎度の事乍ら「お煙草は…」と擴聲機が鳴り出すゝ腋の下がこそばゆくなります■

田淵警部補來社

新京總領事館警察署から蘇家屯警察署に榮轉の警部補田淵富重氏は九日轉任挨拶に本社へ來訪した

小學校卒業生獎勵會賞品授與者

新京初等學校では來る二十五六日に擧行される卒業證書授與式當日各學校卒業生の中成績優秀なものには新京教育獎勵會からの賞品授與の件について打合せをなした結果室町五名、西廣場四名、白菊四名、八島四名、櫻木三名、三笠三名、公學校三名、普通學校二名に授與される

朝鮮人青年會常識講座

在新京朝鮮人青年會では來る十三日午後七時半より普通學校講堂において第一回常識講座を開く、演題と演士は左の如くである

新聞に關して　崔永秀

文藝に就いて　崔榮翰

宗教と人生　張竹燮

女性問題　朴愛完

姙娠に就いて　金玉仁

本紙讀者には優待半額券を刷込んだから御利用願ひたい、尙初日狂言は左の如し（寫眞は實川莚之助）

一、壽式三番叟

一、伽羅先代萩

一、双蝶々曲輪日記引まど

一、一の谷嫩軍記熊谷陣屋

一、所作事白藏主

（二十五）

悲戀 髑髏組（映畫上演化）

林 杢兵衛
金子 士郎 畫

犠牲の結婚（三）

「お嬢様が、何かお前さん達に用事があるんだとさ」

「えゝッ、あのお嬢さんが……」

事の意外に、勘太と小六は思はず顔を見合せた。

「えゝ、お庭の方へ廻つておくれッて、さア此の袢天を着て……」

何んのために此の男達を幾代が更に呼ぶのか？ おこまには頓ッ張り分らない。

子の頃、表には井筒家からの迎ひの駕籠が待つてゐた。

次の間からは焦きたてる鷲兵衛の聲。幾代は氣が氣でない中から、勘太と小六に

「ね、お願ひだから妾を可哀相だと思つて助けておくれ。承知しておくれだつたらお禮はいくらでも出しますから……」と、哀願をする。縋るゝもの、藁にも縋るの心持だ。

「え、よう御座んす。確かに引受けやした」

挨拶しに急きたてる鷲兵衛に、

「はい、只今……」

急に明朗になつた幾代の聲だ。

「早くしなさい」

勘太は、猪首を一層縮めて小聲に

「ぢやアお嬢さん、後程……」

「どうぞ頼みます」

勘太と小六は、無言のうちに強くうなづいて、栗鼠のやうに庭の植込みへ逃げ込んだ。

丁度それから一刻ばかり後のこと。勘太と小六は、とつぷり暮れた春宵の野道を一挺の駕籠を舁いで飛ぶやうに弓削へ急いでゐた。

「小六、一寸休まうや」

前棒の勘太が、肩を外して振り返つた。

「意氣地のねえ野郎だなア、もう草臥たんかい。空駕籠でそんなんぢや仕様がねえぜ」

口では強がりを云ふものゝ、小六にしても楽ぢやない。

「空だからブラ〳〵揺ぶれてさ、草臥るより肩が痛くて堪らねえや。石ころでも拾つて重味にしやうぜ」

「考えて見りや可笑しなもんだ。勘定通りに仕事が運ばねえでさ、こんな駕籠屋の眞似もしなくちやならねえ。金儲けになると何んでも樂に行かねえなア勘太」

「それもさうだ…あの娘よ、偉えもんだぜ」

「どうしてだ？」

「どうしてッてお前さうぢやねえか、つまり敵の様な倅謝を、まるで手足の様にコキ使つてさ…考えて見りやア腹の据つた娘だぜ」

「違えねえ。ところで娘は一體どうする積りなんだらう？」

「知れてるぢやねえか、浪人のところへ逃げるんだよ」

「そこでその駕籠を俺達が舁がうと云ふのか？」

「さうよ」

「何んだか變な具合だなア」

「敵になつたり味方になつたり、これもみんな佐渡の土のお光りだ。どれ、娘が待つてゐるだらう、早く行つてやらうぢやねえか」

ゴクリと唾を呑み込んで引受ける勘太と小六。

「それぢや、井筒家の裏口へ……ね？」

「間違えなく廻しておきやすから、御安心願えます」

「屹度ね、頼みましたよ」

「大丈夫で御座んすよ。お嬢さんせえお間違えにならなきやア……こちとらア今日だつてちやんと、石薬師様の本堂で今まで待ちぼけてゐたんでさア」

「濟まなかつたわね、急にこんな騒ぎでどうすることも出來ないもんだから御免してね。では、これは先日のお約束の分。今度のお禮はあとから澤山出すからね」

幾代は、手文庫の中から小判十枚を取り出して、勘太の手に握らした。

「ヘッヘ左様で御座んすか」

[illegible]と共に勘太は小六に目配せして、そのまゝ内へ潜ろへ逃げ込んだ。

その時──

「幾代、仕度はまだかな。おこまは何をしてゐるんぢや、お客さんのお待ち兼が分らないのか」